

SoftBank Vision Fund ビジネスモデルと会計処理

2018年11月7日

ソフトバンクグループ株式会社

※ 本資料は、ソフトバンク・ビジョン・ファンド(以下、「SVF」)のビジネスモデルと会計処理について記述した資料となります。デルタ・ファンドのビジネスモデルと会計処理についても、SVFと相違はありません。



SoftBank Group Corp. Disclaimer for Investor Briefing

This confidential presentation (this “**Presentation**”) is furnished to you for informational purposes solely to provide a summary of SoftBank Group Corp.’s (together with its subsidiaries, “**SoftBank**”) accounting and business practices with respect to the SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “**Vision Fund**”) and SB Delta Fund (Jersey) L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “**Delta Fund**”, and together with the Vision Fund, the “**Funds**”). The Presentation is not complete, is not intended to be relied upon as the basis for any investment decisions and is not an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in or any other investment vehicle. The contents of the Presentation are not to be construed as legal, business or tax advice, and each recipient should consult its own attorney, business advisor and tax advisor as to legal, business and tax advice.

The Presentation speaks as of the date hereof or as otherwise indicated herein. SoftBank and its respective affiliates, members, partners, stockholders, managers, directors, officers, employees and agents do not have any obligation to update any part of this Presentation. By accepting this Presentation, the recipient agrees that it will, and will cause its officers, directors, partners, members, shareholders, employees advisors or other similar representatives or agents (“**Permitted Representatives**”), to use the information herein only for informational purposes and for no other purpose and will not, and will cause its Permitted Representatives not to, divulge any such information to any other party. None of the Funds, SoftBank or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the Presentation and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the Funds or any other company or entity referenced in this Presentation.

Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. In particular, this Presentation contains certain information regarding SoftBank’s expected organization, operations and activities in the future. This information has been set out for illustrative purposes only, and does not constitute forecasts. This Presentation has been prepared based on SoftBank’s current view in relation to future events and various assumptions, including assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. While this Presentation is based on assumptions that SoftBank believes are reasonable under the circumstances, they are subject to uncertainties, changes (including changes in economic, operational, political, legal, tax and other circumstances) and other risks, including, but not limited to, broad trends in business and finance, tax and other legislation affecting SoftBank, all of which are unknowable and beyond SoftBank’s control and any of which may cause SoftBank’s organization, operations or activities to be materially different from those described in this Presentation. Nothing contained in this Presentation may be relied upon as a guarantee, promise or forecast or a representation as to the future.

Certain information presented herein may be based, in part, on information from third parties believed to be reliable and/or assumptions that later prove to be invalid or incorrect. SoftBank disclaims any obligation to update this information to reflect subsequent developments, reflect a change in assumptions used to prepare this material or for information that later proves to be incorrect.

EACH RECIPIENT ACKNOWLEDGES AND AGREES THAT IT IS RECEIVING THIS PRESENTATION ONLY FOR THE PURPOSES STATED ABOVE AND SUBJECT TO THE UNITED STATES SECURITIES LAWS PROHIBITING ANY PERSON WHO HAS RECEIVED MATERIAL, NON-PUBLIC INFORMATION FROM PURCHASING OR SELLING SECURITIES OF THE APPLICABLE ISSUER OR FROM COMMUNICATING SUCH INFORMATION TO ANY OTHER PERSON UNDER CIRCUMSTANCES IN WHICH IT IS REASONABLY FORESEEABLE THAT SUCH PERSON IS LIKELY TO PURCHASE OR SELL SUCH SECURITIES.

- SVFは、2017年5月20日に大規模な初回クロージング※1を完了以降、積極的な投資活動を行っており、SVFのSBG連結財務諸表に与える影響はますます大きくなっています。
- SVFが行う投資事業(以下、「SVF事業」)は、従来SBGが主力事業としてきた通信事業とは性質が異なるため、当社財務諸表の利用者に、SVF事業の仕組みとそのSBG連結財務諸表に与える影響をご理解いただきたく、2018年2月9日に「SoftBank Vision Fundビジネスモデルと会計処理」を公表しました。
- 今回、SVFが取得する投資のうち、SBGからSVFへの売却を経てSVFが取得する投資の内容とそのSBG連結財務諸表に与える影響をご説明するため、本資料を更新しました。

【主な更新内容 (P29～34)】

- 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 公正価値評価
- SVFが直接取得する投資の会計処理、表示
- SBGからSVFへの売却を経てSVFが取得する投資の会計処理、表示

※1 クロージングとは、SVFに対する、LP投資家の出資コミットメントの申し込みが完了することです。複数回実施されるクロージングのうち、最初のクロージングが「初回クロージング」です。

1. SVF事業の概要と会計処理

- 1) SVFのビジネスモデル
- 2) SVFにおける収益性の評価
- 3) SVFを構成する事業体
- 4) SVFの業務の流れ

2. SBG連結の会計処理

- 1) SBG連結対象
- 2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示
- 3) 外部投資家持分の会計処理と表示
- 4) SBGと外部投資家に対する分配

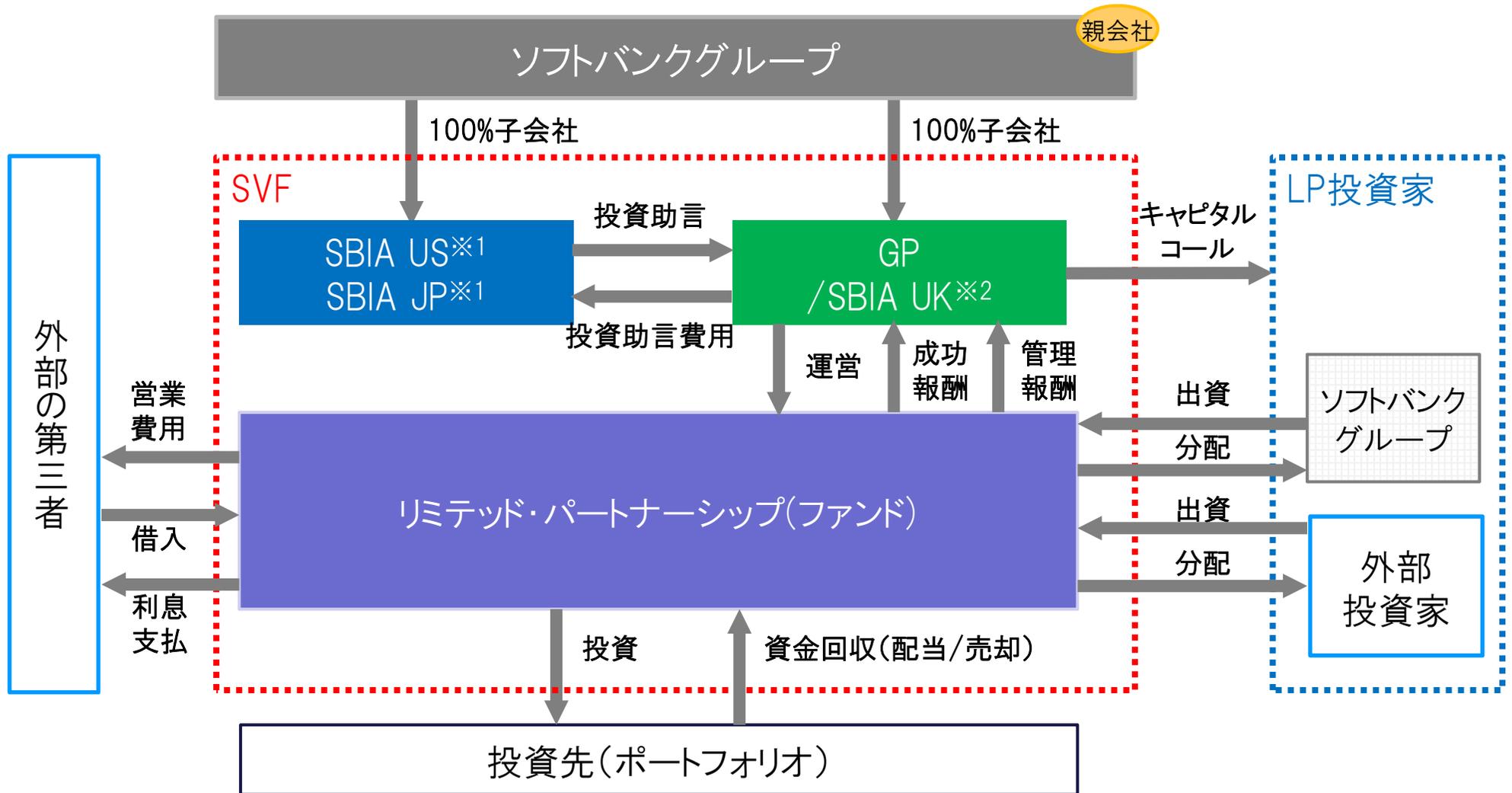
3. SBG連結財務諸表サマリー

- 1) ファンドの取引概要
- 2) SBG連結財務諸表サマリー
(BS・PL・CF・セグメント情報)

Appendix

ファンド特有の用語
IFRS上の投資企業の定義

SVF全体像



※1 SBIA UKに対して投資助言を提供する、日米のアドバイザー会社

※2 SVFの運営管理者

1. SVF事業の概要と会計処理

1. SVF事業の概要と会計処理

- 1) SVFのビジネスモデル
- 2) SVFにおける収益性の評価
- 3) SVFを構成する事業体
- 4) SVFの業務の流れ

2. SBG連結の会計処理

- 1) SBG連結対象
- 2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示
- 3) 外部投資家持分の会計処理と表示
- 4) SBGと外部投資家に対する分配

3. SBG連結財務諸表サマリー

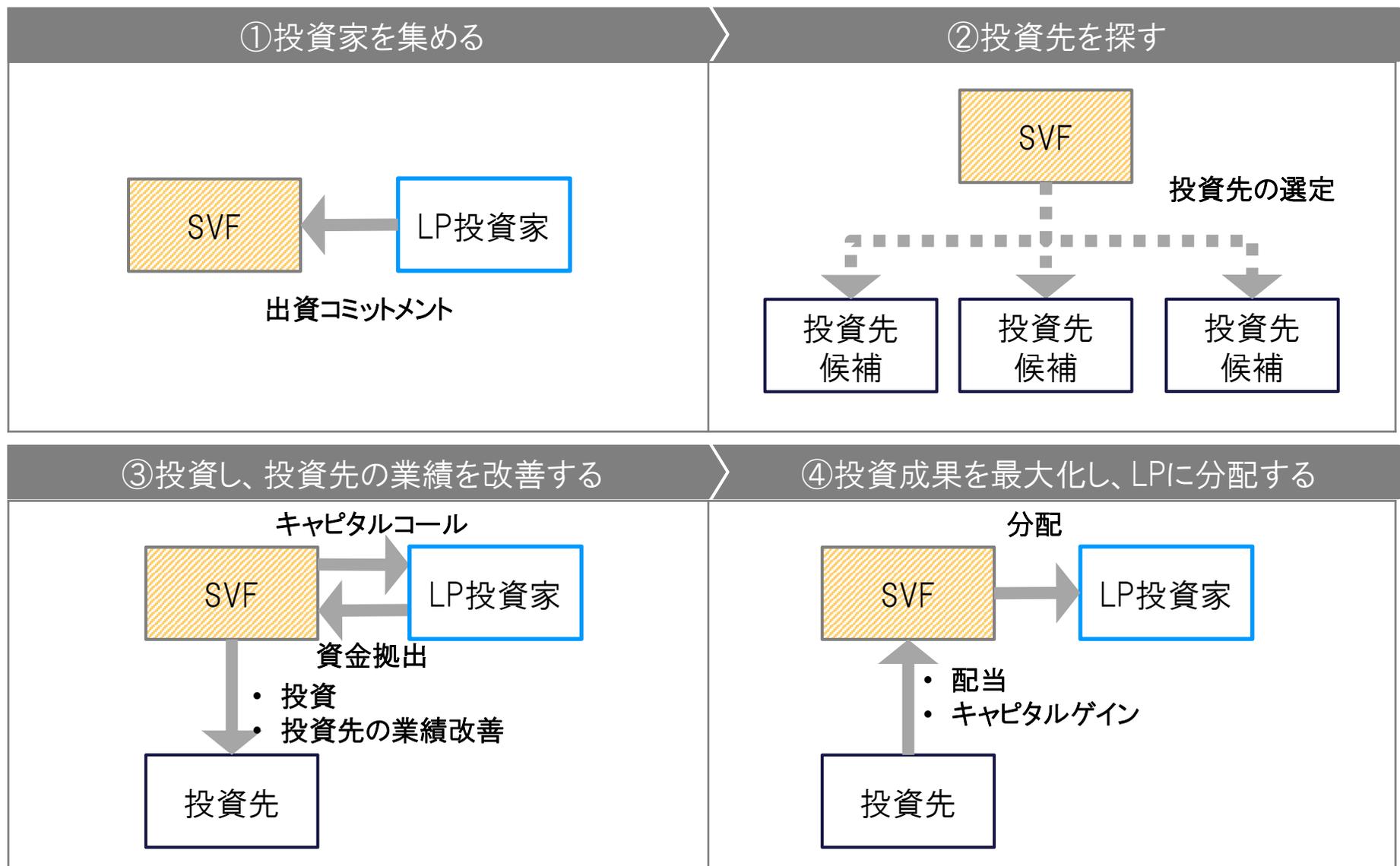
- 1) ファンドの取引概要
- 2) SBG連結財務諸表サマリー
(BS・PL・CF・セグメント情報)

Appendix

ファンド特有の用語
IFRS上の投資企業の定義

1) SVFのビジネスモデル

SVFはLP投資家から資金を集め、投資先を探します。投資先に投資・運用することで、成果をLP投資家に分配します。



1) SVFのビジネスモデル

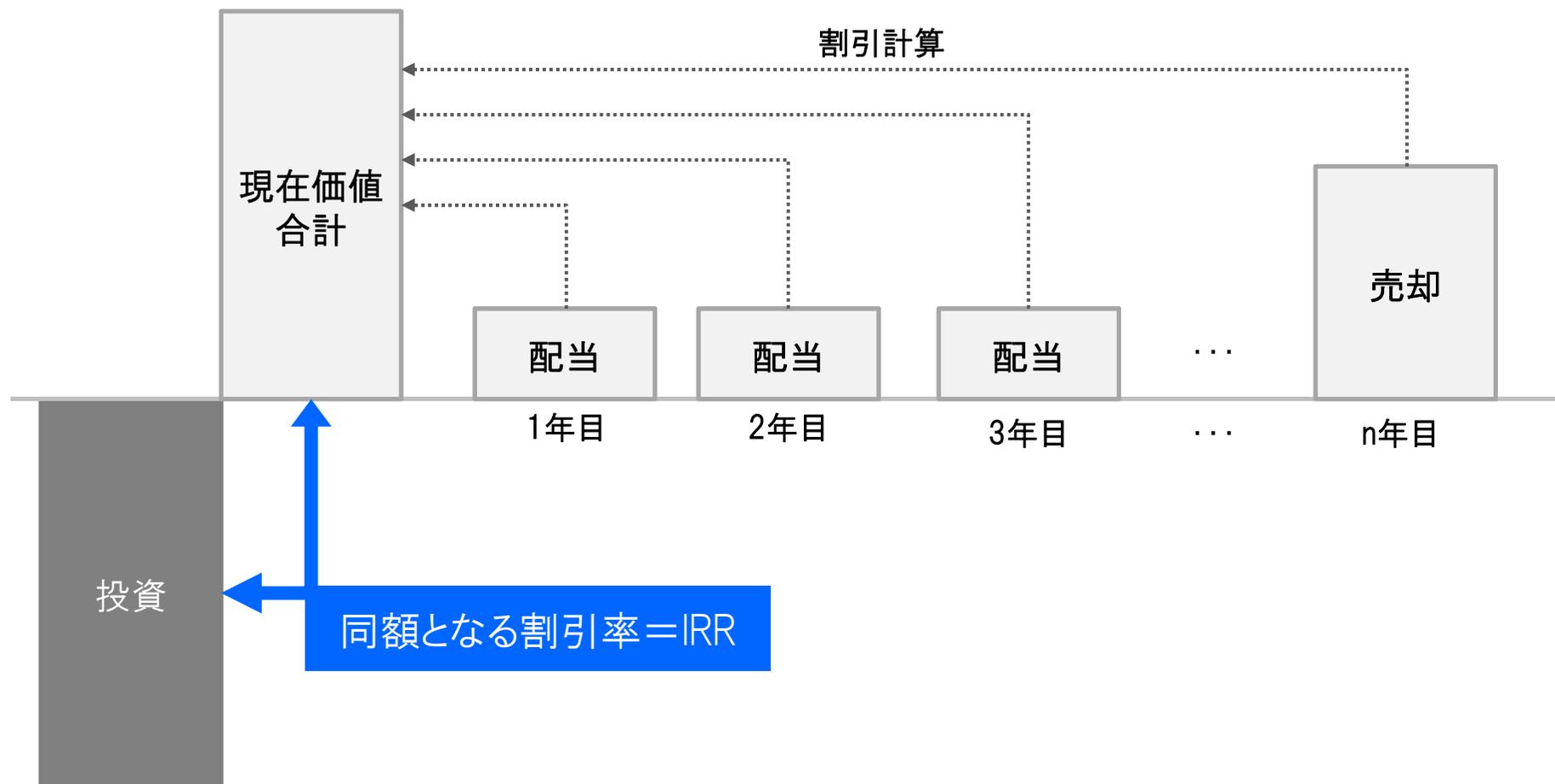
SVFは、投資成果をIRRで測定します。

投資成果の最大化

収益性(IRR)の向上

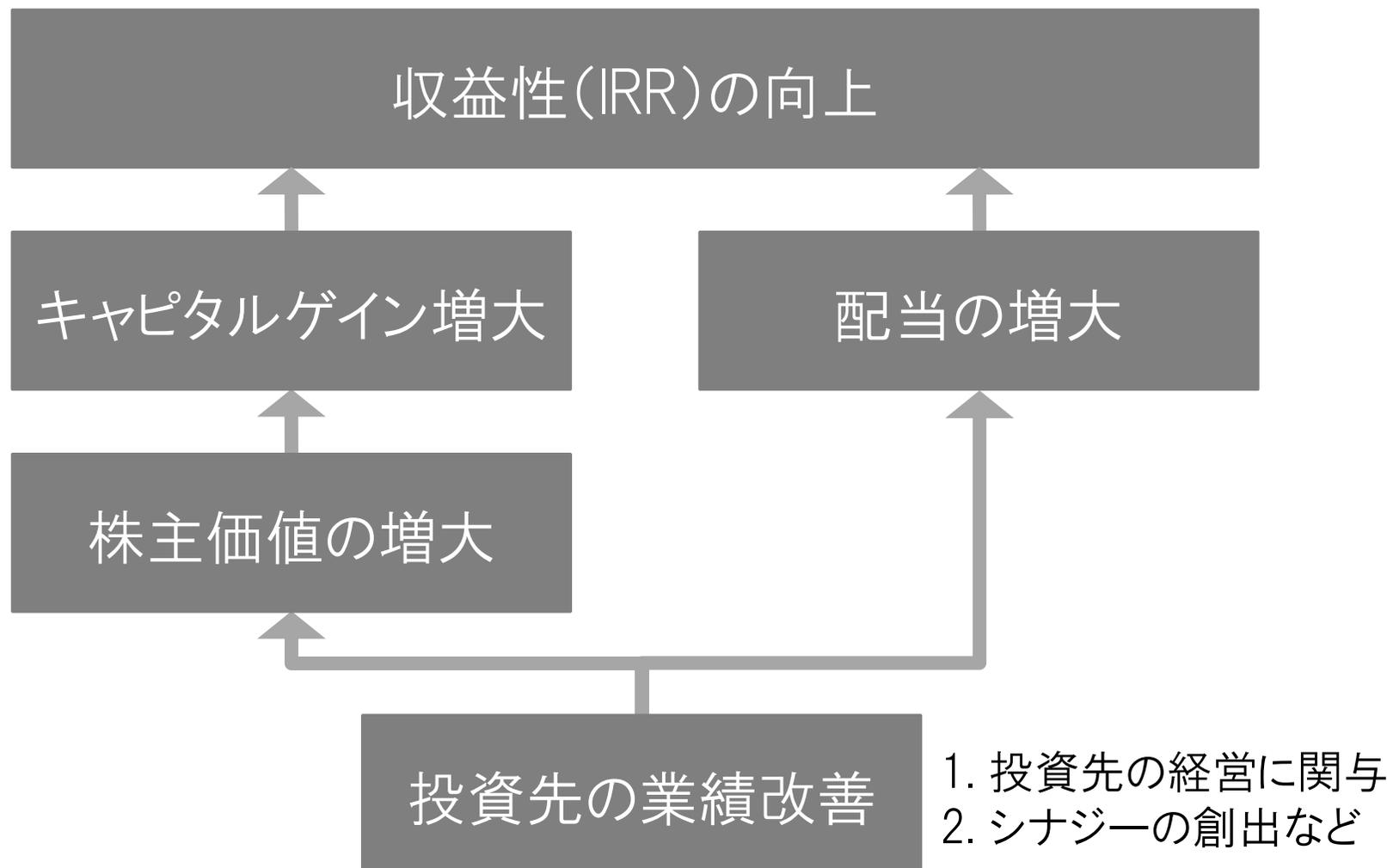
1) SVFのビジネスモデル

IRRとは、将来キャッシュフローの現在価値の合計と、投資金額が一致する場合の割引率をいいます。
IRRが高い投資ほど、良い投資と言えます。



2) SVFにおける収益性の評価 - 概要

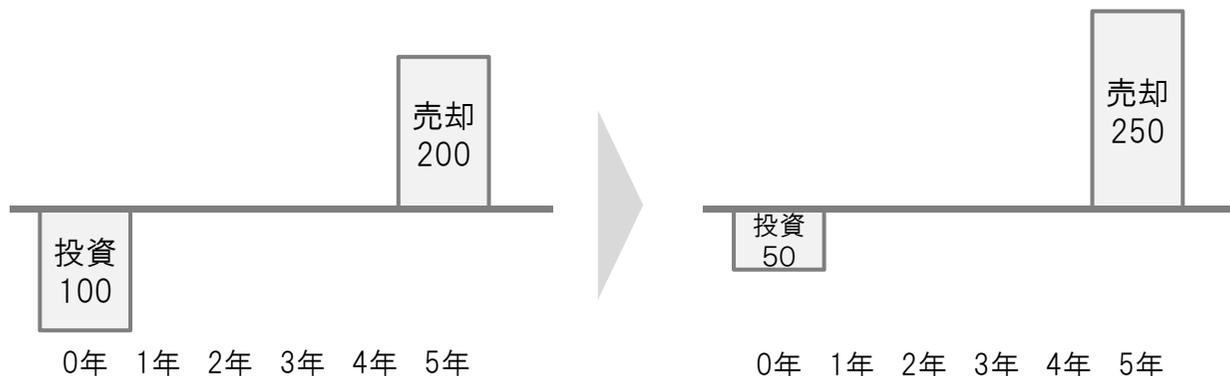
SVFは、投資成果を最大化する(IRRを向上させる)ために、配当やキャピタルゲインによって、投資先からキャッシュを回収します。回収できるキャッシュを増加させるために、SVFは投資先の業績を改善する施策を実施します。SVFは投資先の経営に関与するなどして、投資先の業績向上を手助けします。



2) SVFにおける収益性の評価 - 概要

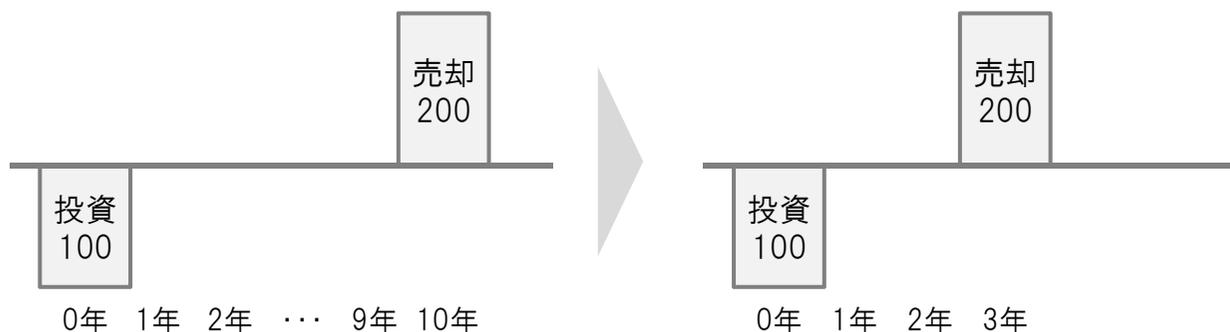
IRRは以下のいずれかの方法をとることで、改善します。

①
安く買って
高く売る



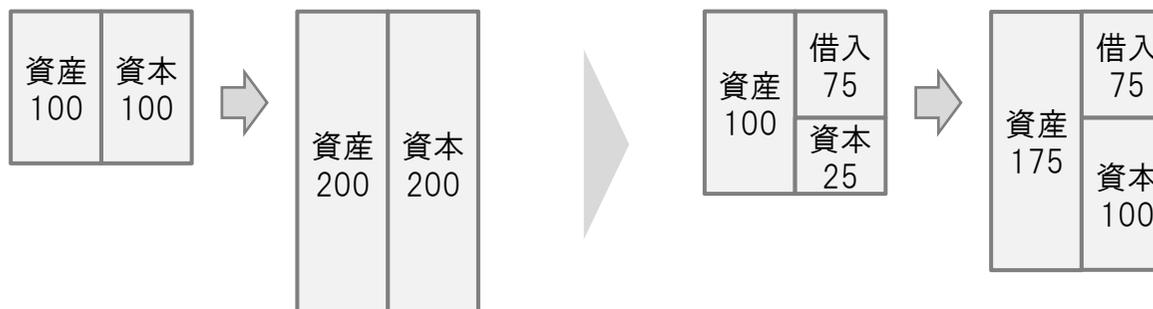
投資金額を小さく/売却金額を大きくできれば、高い割引率(IRR)を達成できる

②
投資期間を
短くする



投資回収期間が短いと、一般的にIRRは改善する

③
借入を用いる



借入を活用することで、LP出資のみで投資を行う場合と比較し、投資の収益性が向上する

2) SVFにおける収益性の評価 - ①安く買って高く売る

投資期間が同じ場合には、より投資金額が少なく、より売却金額が高い方が、IRRは高くなります。

高く買って安く売る

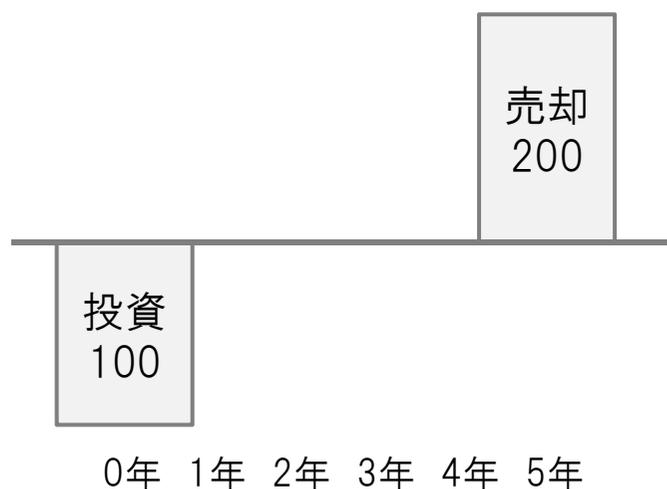
【前提】

投資期間 : 5年間

投資 : 100

売却 : 200

※上記以外の投資に係る諸費用や税金はなし



IRR: 14.9%

安く買って高く売る

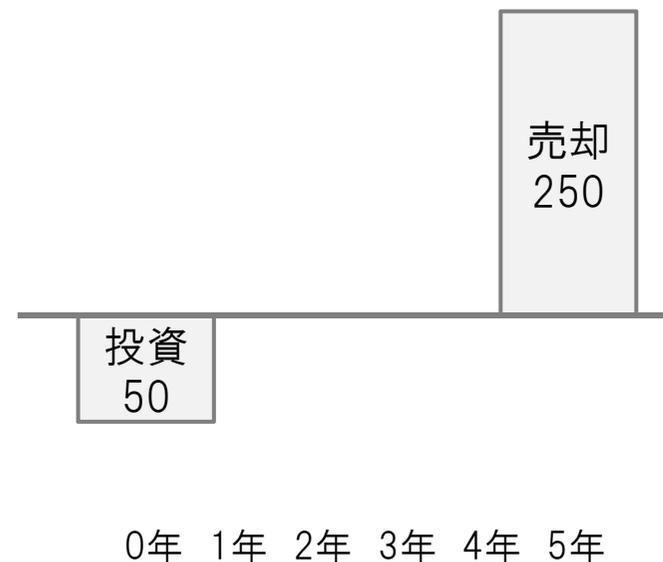
【前提】

投資期間 : 5年間

投資 : 50

売却 : 250

※上記以外の投資に係る諸費用や税金はなし



IRR: 38.0%

2) SVFにおける収益性の評価 - ②投資期間を短くする

投資金額、売却金額が同じ場合には、投資期間が短い方がIRRは高くなります。

投資期間が長い

【前提】

投資期間 : 10年間

投資 : 100

売却 : 200

※上記以外の投資に係る諸費用や税金はなし



IRR: 7.2%

投資期間が短い

【前提】

投資期間 : 3年間

投資 : 100

売却 : 200

※上記以外の投資に係る諸費用や税金はなし



IRR: 26.0%

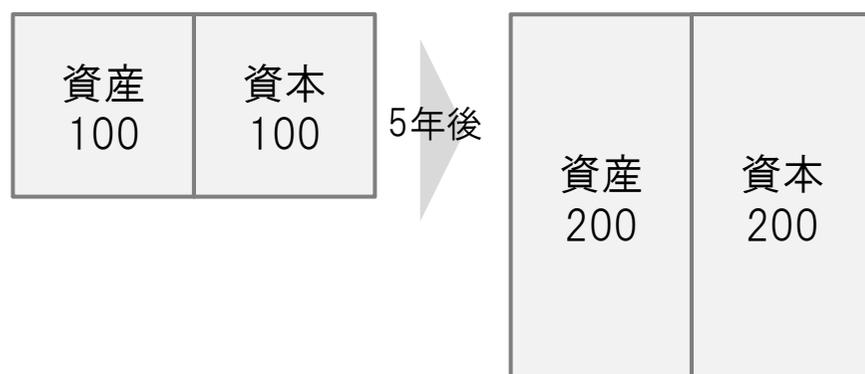
2) SVFにおける収益性の評価 - ③借入を用いる

IRR向上のために、SVFは外部金融機関から借入を行うことがあります。これはレバレッジ効果を利用したもので、LP出資による投資を小さくし、収益性を高めることが目的です。

借入がない

【前提】

投資期間 : 5年間
 投資 : 100(全て自己資金)
 売却益 : 100(計算上200で売却と仮定)
 借入 : なし



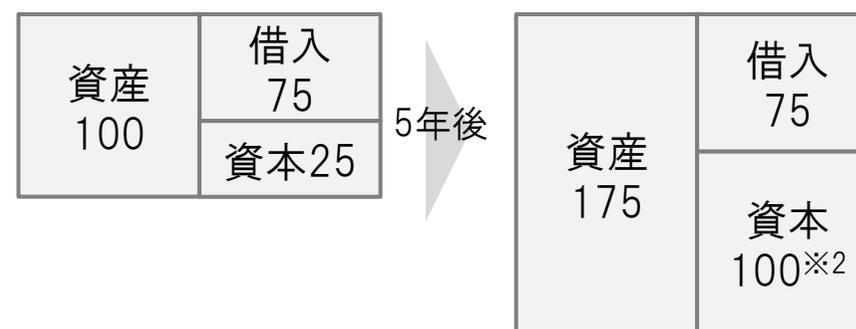
IRR: 14.9%

資本は2倍に増加

借入がある※1

【前提】

投資期間 : 5年間
 投資 : 100(うち、自己資金25)
 売却益 : 100(計算上200で売却と仮定)
 借入 : 75(期中返済なし)
 利息 : 25(5年後に一括計上/支払)



IRR: 32.0%

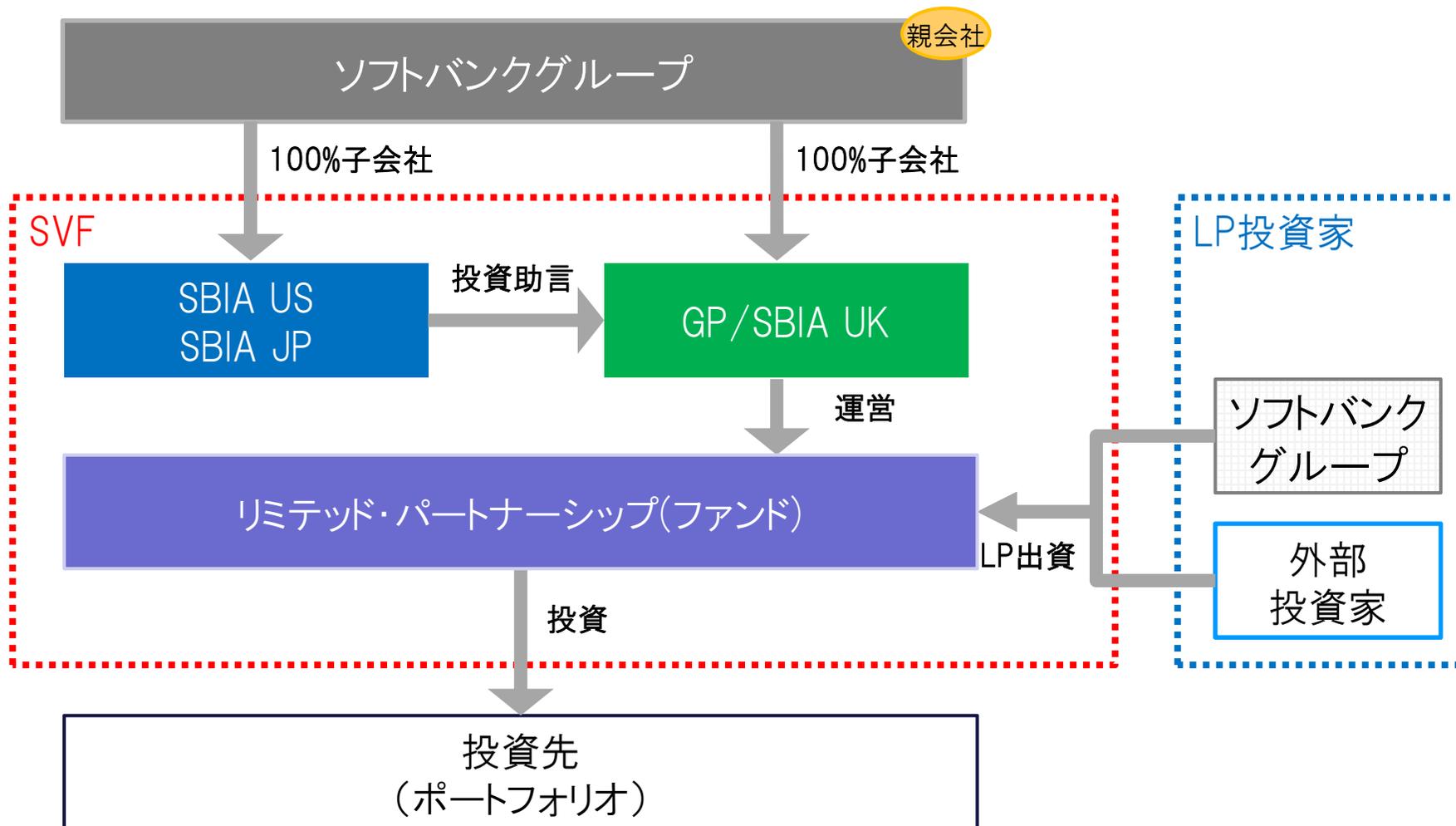
資本は4倍に増加

※1 IRR向上のためにSVFが行う借入は、SBG財務諸表上、「有利子負債」として表示されます。

※2 計算式: 資本25+売却益100-利息25

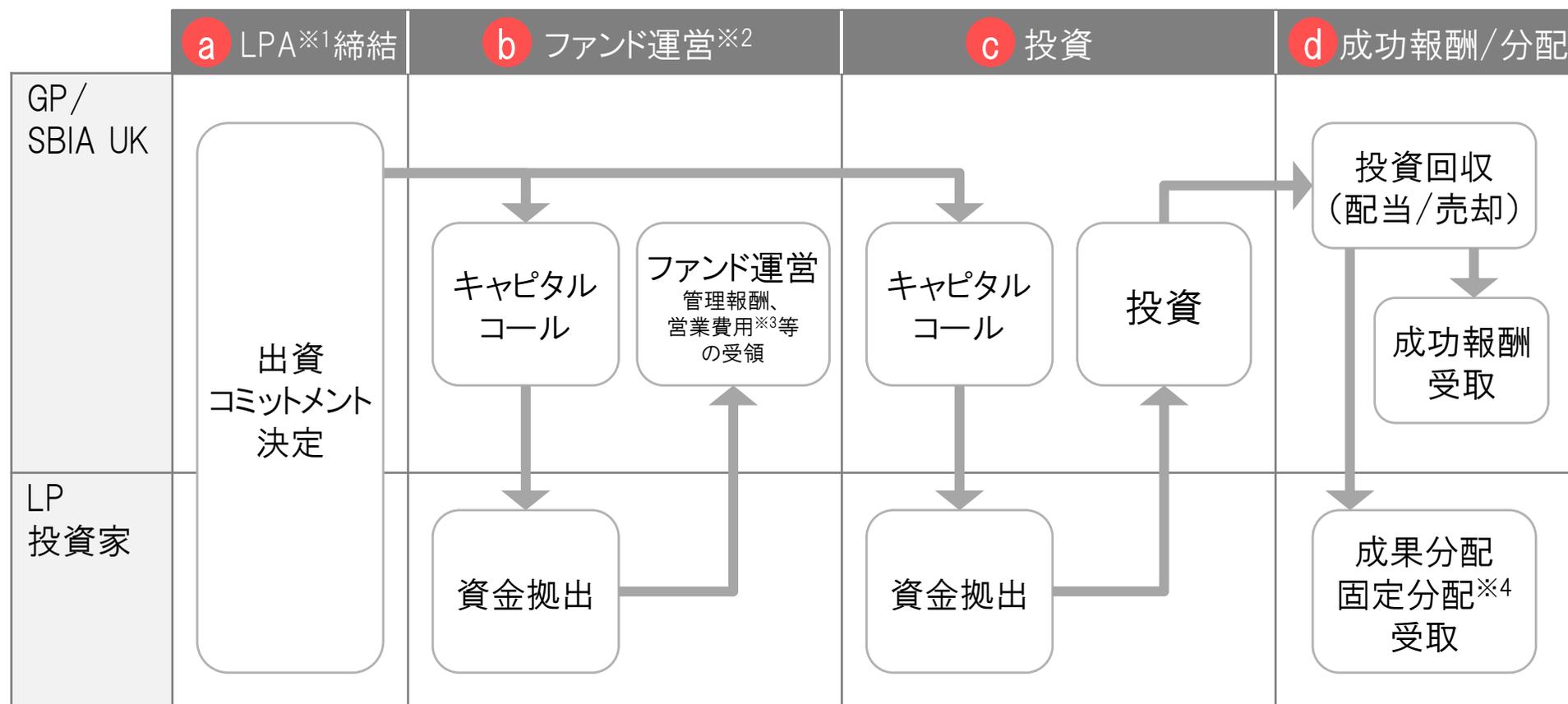
3) SVFを構成する事業体

SVFは、GP/SBIA UK、SBIA US/SBIA JP, リミテッド・パートナーシップ(ファンド)から構成されます。



4) SVFの業務の流れ - 概要

まずGP/SBIA UKとLP投資家がLPA※1を締結し、出資コミットメントを決定します。その後、GP/SBIA UKからLP投資家に対しキャピタルコールが行われ、LP投資家からSVFに対し資金が拠出されます。GP/SBIA UKはこの資金をファンド運営※2や投資に利用します。GP/SBIA UKは投資先の売却や配当を用いて、LP投資家に対し成果を分配します。



※1 Limited Partnership Agreementの略称。

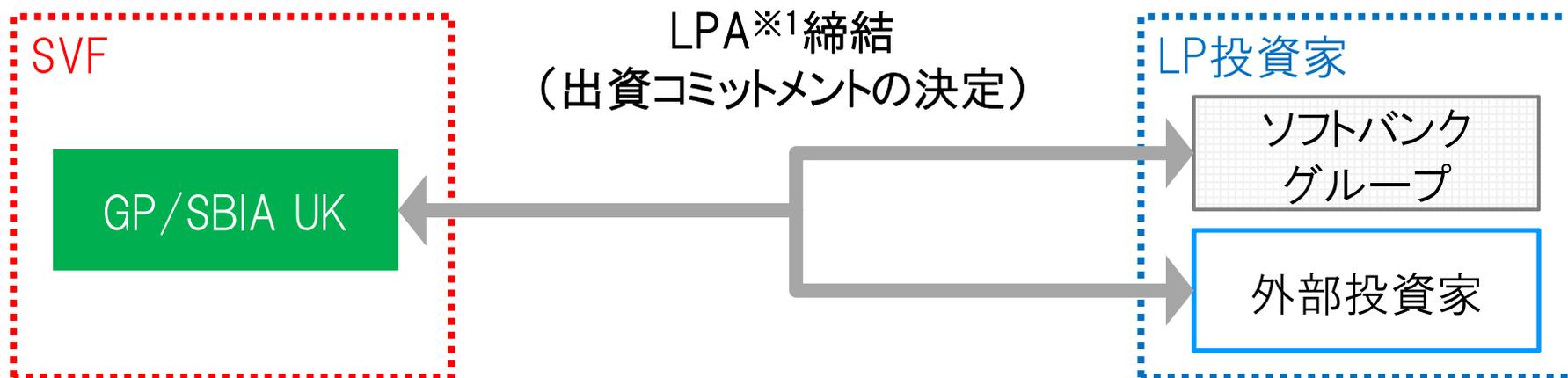
※2 ファンド運営に必要な資金は、キャピタルコール以外にも、投資成果から賄うことがあります。

※3 営業費用には、SVFを構成する事業体の設立費用、SBIA(UK/US/JP)で発生した取引調査費用、各社で発生した管理費用などが含まれます。

※4 LP投資家への固定分配(ClassB)は、キャピタルコールにより得た資金から支払うこともあります。

4) SVFの業務の流れ - a LPA締結

LP投資家はGP/SBIA UKとLPA※1を締結し、出資コミットメントを決定します。出資コミットメントは、Class A(成果分配型)とClass B(固定分配型)に分類されます。

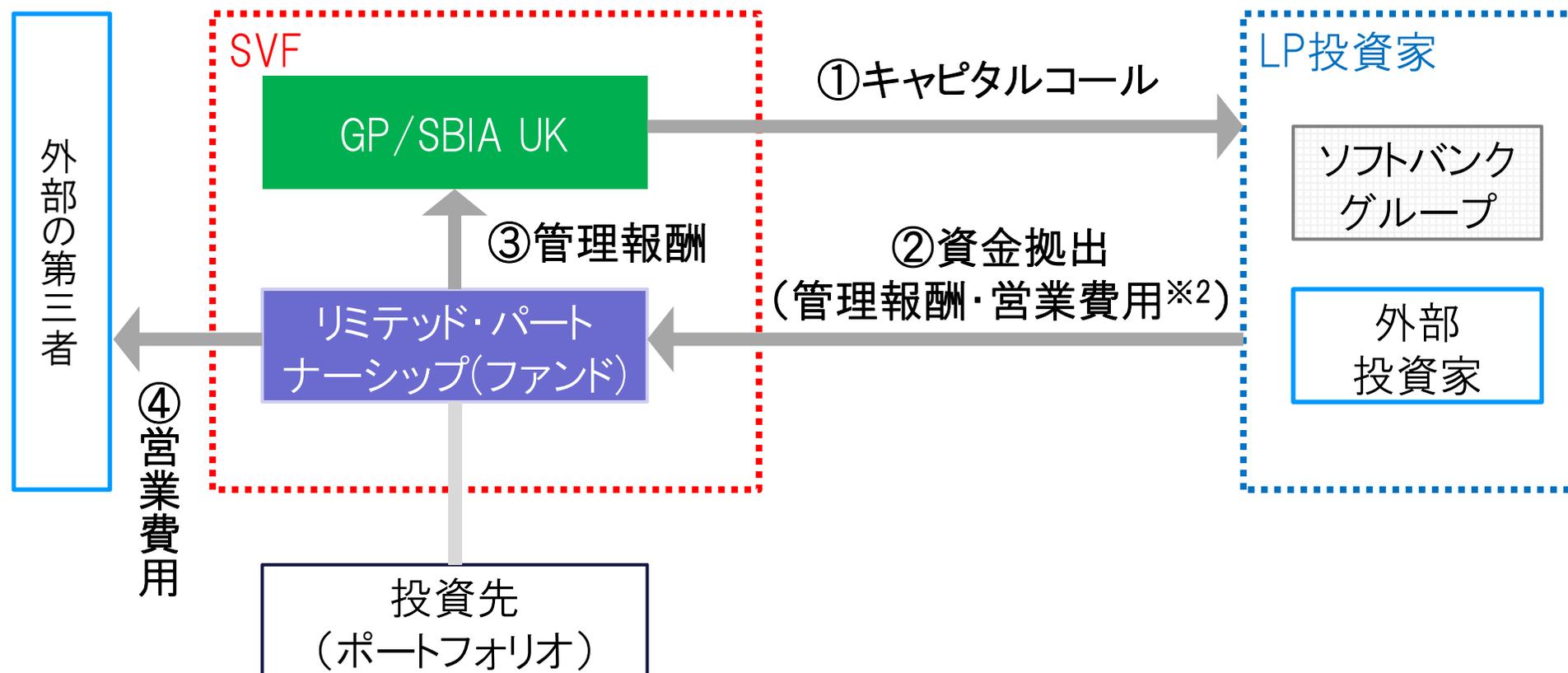


	タイプ	特徴
出資 コミットメント	Class A (成果分配型)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資成果の増減に合わせ、LP投資家が受け取ることができる分配も増減する 2. LP投資家に対する投資成果の分配は、Class Bに劣後する
	Class B (固定分配型)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資元本に対して、一定割合の分配が行われる 2. LP投資家に対する分配は、Class Aに優先する

※1 Limited Partnership Agreementの略称。

4) SVFの業務の流れ - **b** ファンド運営

GP/SBIA UKはLP投資家にキャピタルコール(①)を行います。このキャピタルコールに基づいてLP投資家は、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)に資金を拠出(②)します。ファンドに拠出された資金は、資金の目的(管理報酬、営業費用)に応じ、GP/SBIA UKや外部の第三者に支払われます(③④)^{※1}。

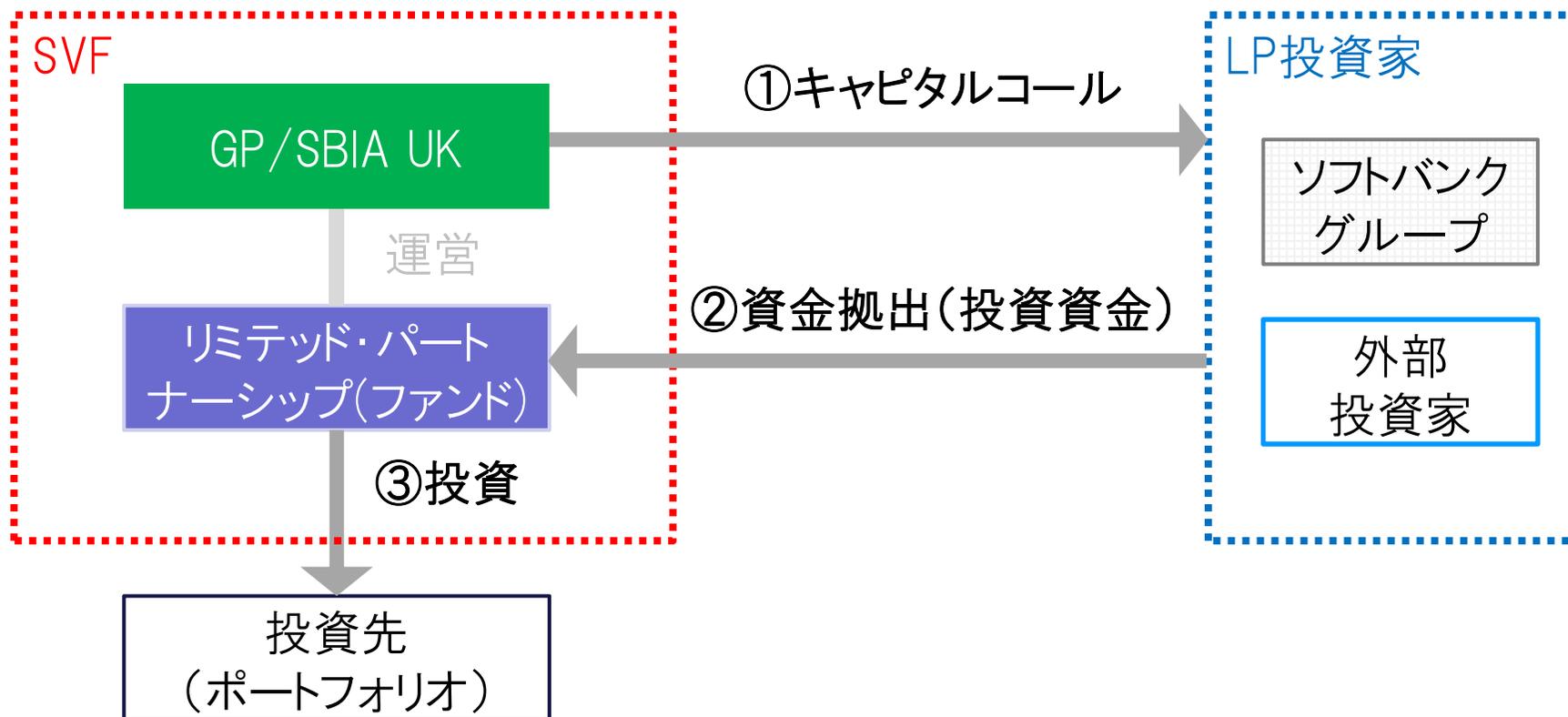


※1 ファンド運営に必要な資金は、キャピタルコール以外にも、投資成果から賄うことがあります。

※2 営業費用には、SVFを構成する事業体の設立費用、SBIA(UK/US/JP)で発生した取引調査費用、各社で発生した管理費用などが含まれます。

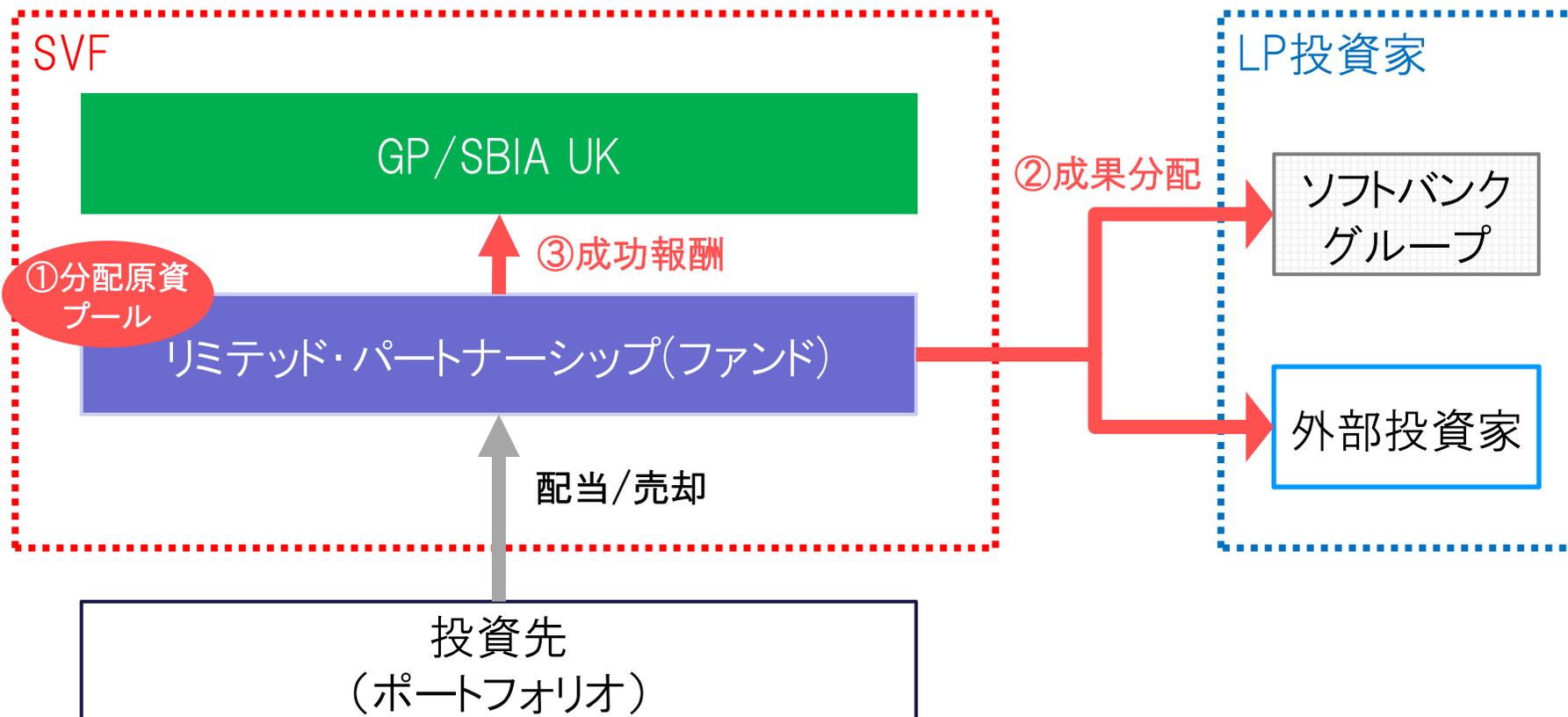
4) SVFの業務の流れ - ③ 投資

GP/SBIA UKはLP投資家に対しキャピタルコール(①)を行います。LP投資家はキャピタルコールに基づき、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)に資金を拠出(②)します。GP/SBIA UKは、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)から投資先(ポートフォリオ)へ投資(③)を行います。



4) SVFの業務の流れ - d 成功報酬/分配

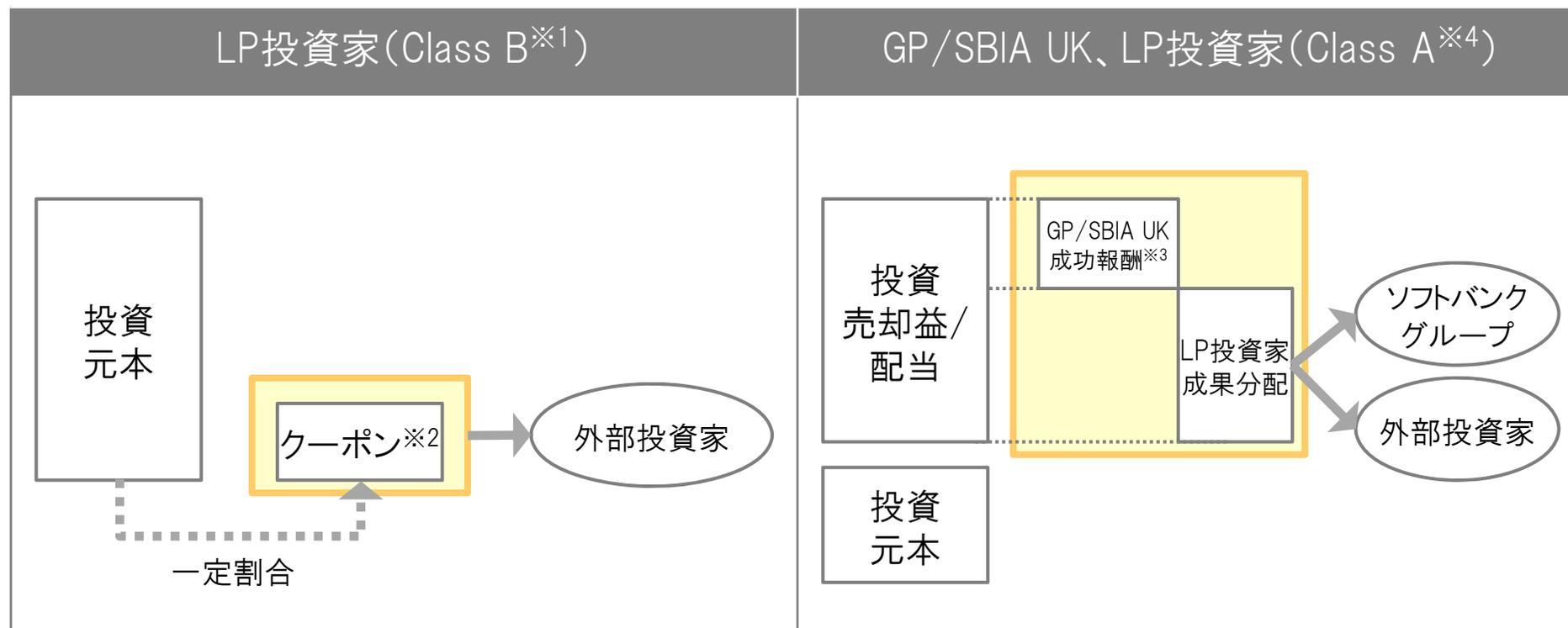
投資先の売却や投資先からの配当など、投資回収により生じるキャッシュフローは、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)にプール(①)されます。リミテッド・パートナーシップ(ファンド)にプールされた資金は、まずClass BのLP投資家に対し分配(②)されます※1。その後、GP/SBIA UKに成功報酬が支払われる(③)とともに、Class AのLP投資家に対し分配(②)されます。



※1 Class BのLP投資家への分配は、キャピタルコールにより得た資金から支払うこともあります。

4) SVFの業務の流れ - d 成功報酬/分配

まず、Class B※1を出資するLP投資家が、投資元本に対する一定割合を固定報酬(クーポン※2)として受け取ります。Class Bの固定報酬支払後、GP/SBIA UKが成功報酬を受け取る※3とともに、Class A※4を出資するLP投資家が投資成果に応じた分配を受け取ります。



※1 固定分配型の出資形式

※2 支払いは半年に一度

※3 成功報酬の受取は、一定の要件充足が必要

※4 成果分配型の出資形式

2. SBG連結の会計処理

1. SVF事業の概要と会計処理

- 1) SVFのビジネスモデル
- 2) SVFにおける収益性の評価
- 3) SVFを構成する事業体
- 4) SVFの業務の流れ

2. SBG連結の会計処理

- 1) SBG連結対象
- 2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示
- 3) 外部投資家持分の会計処理と表示
- 4) SBGと外部投資家に対する分配

3. SBG連結財務諸表サマリー

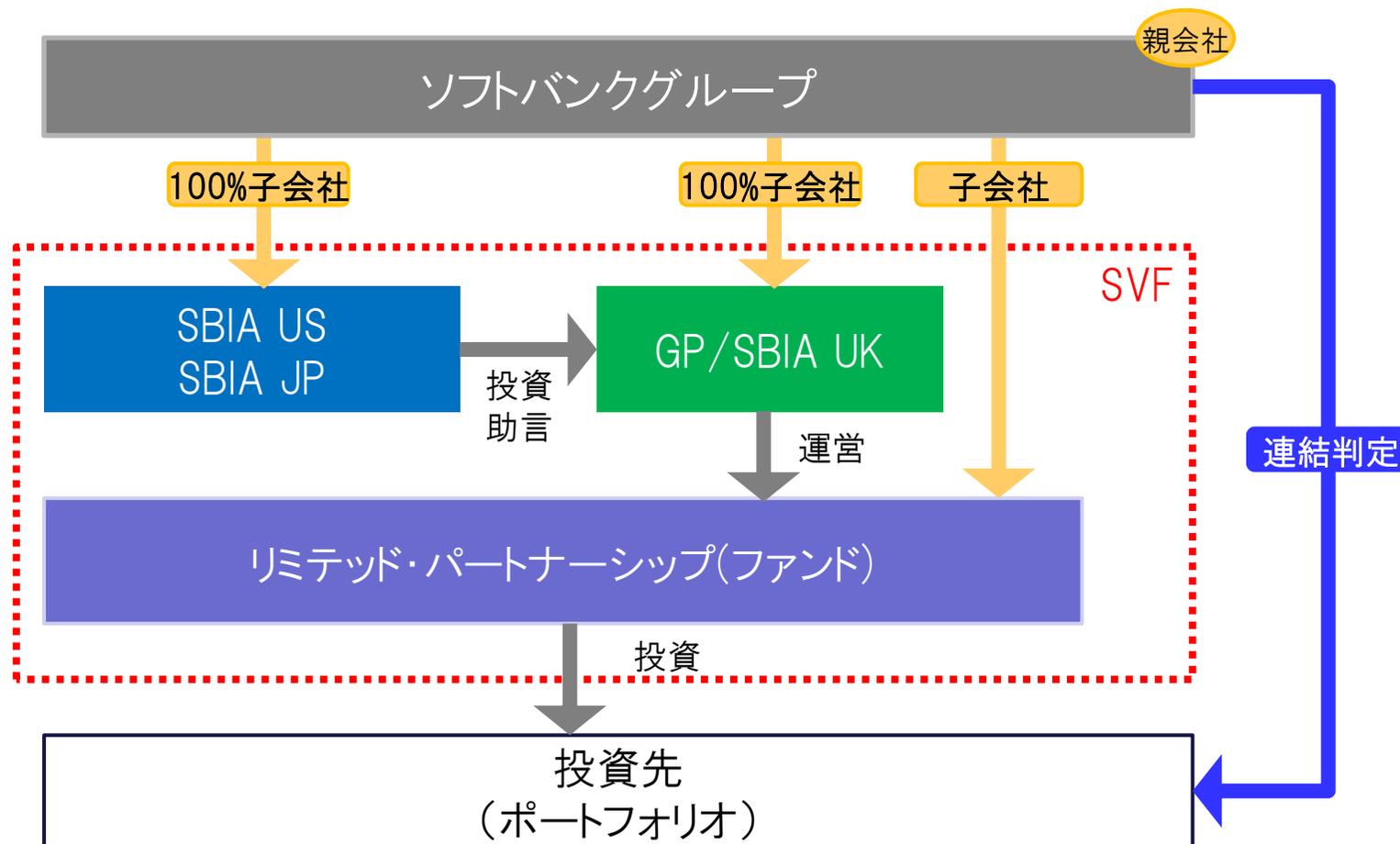
- 1) ファンドの取引概要
- 2) SBG連結財務諸表サマリー
(BS・PL・CF・セグメント情報)

Appendix

ファンド特有の用語
IFRS上の投資企業の定義

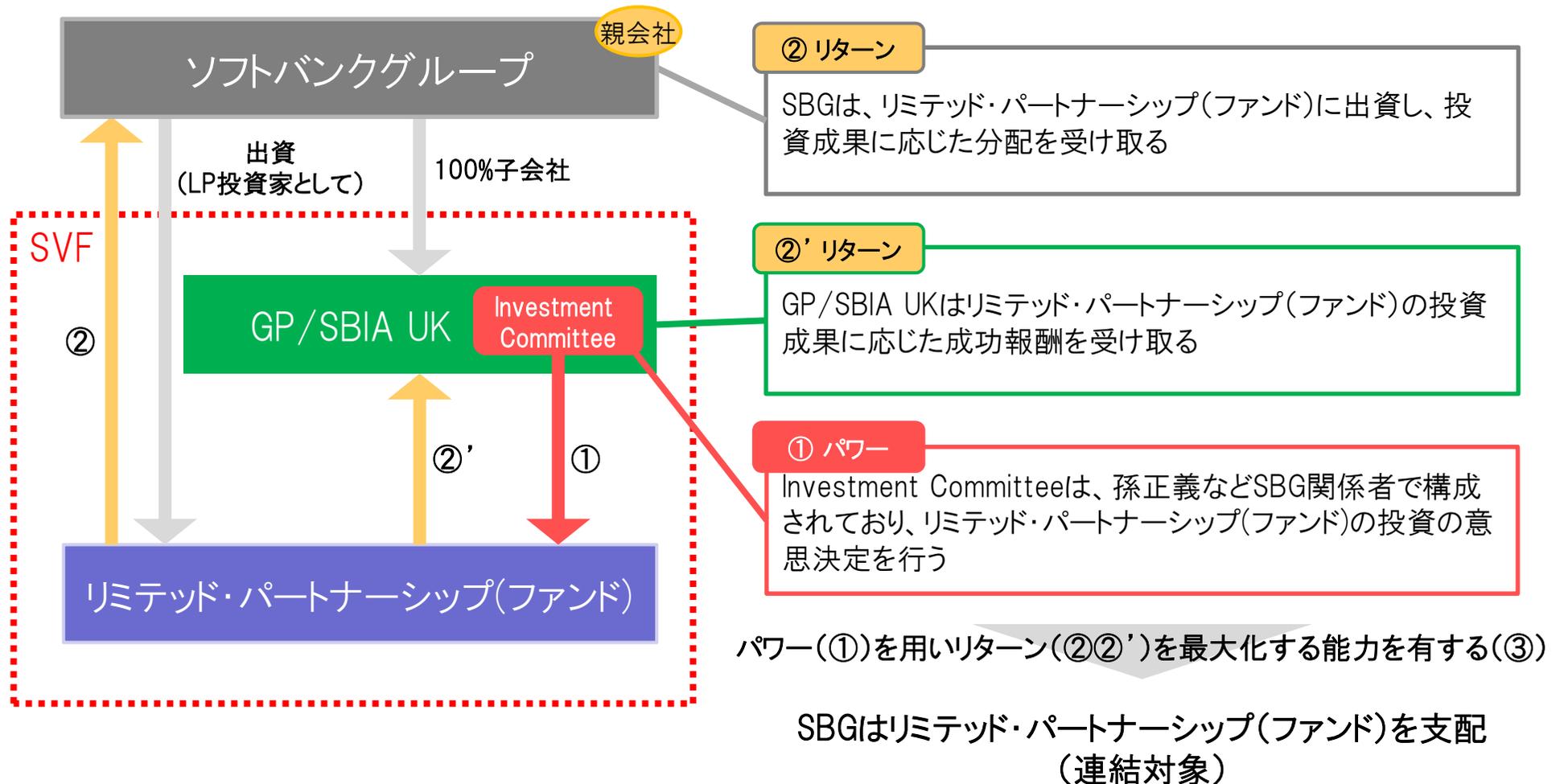
1) SBG連結対象 - 概要

SVFを構成する事業体は、全てSBGの連結対象となります。
投資先(ポートフォリオ)は、SBGが連結判定を実施し、判定結果に応じた会計処理を実施します。



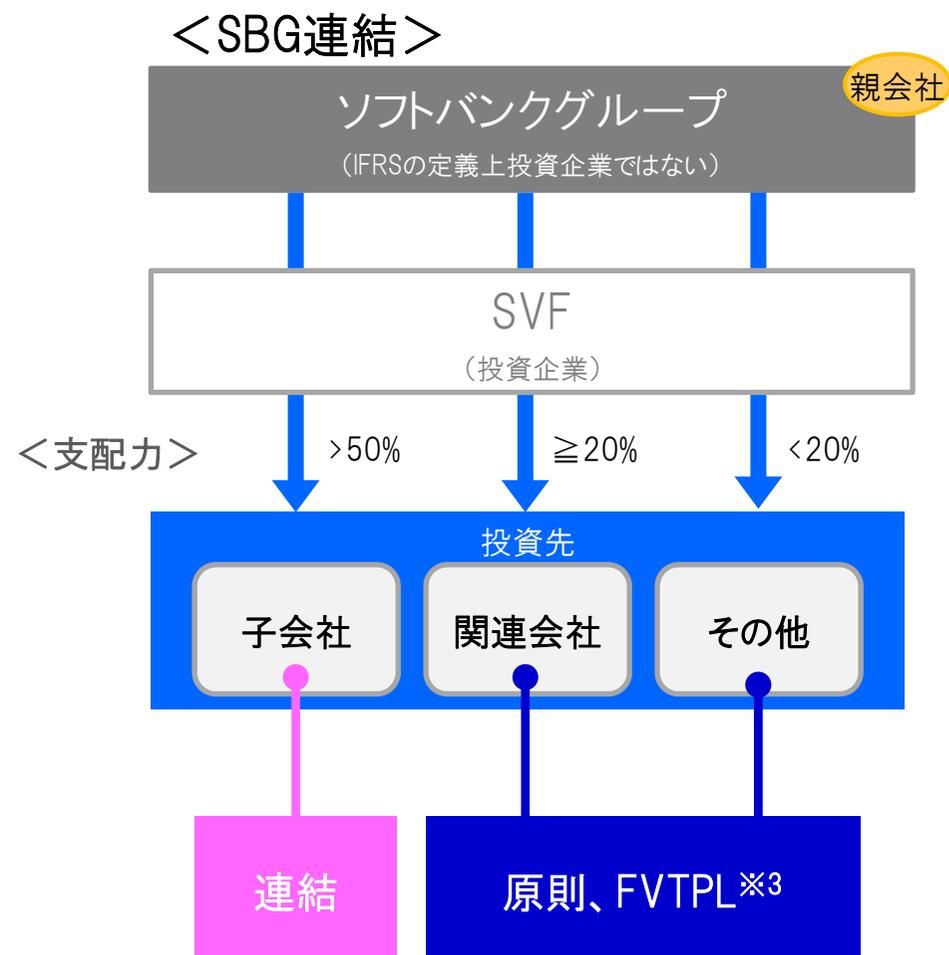
1) SBG連結対象 - SBGがファンドを連結する理由

SBGは、100%子会社であるGP/SBIA UKを通じて、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)の投資の意思決定を行います(①)。また、SBGは、LP投資家として投資成果に応じた分配を受け取り(②)、さらに、GP/SBIA UKを通じて成功報酬を受け取ります(②')。SBGは、パワー(①)を用いリターン(②②')を最大化する能力を有する(③)ことから、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)を支配していると考えられます。



2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - SBG

SBGはIFRS定義上、投資企業に該当しません※1。SBGは投資先の連結判定を行い、連結判定結果に応じた会計処理※2を実施します。



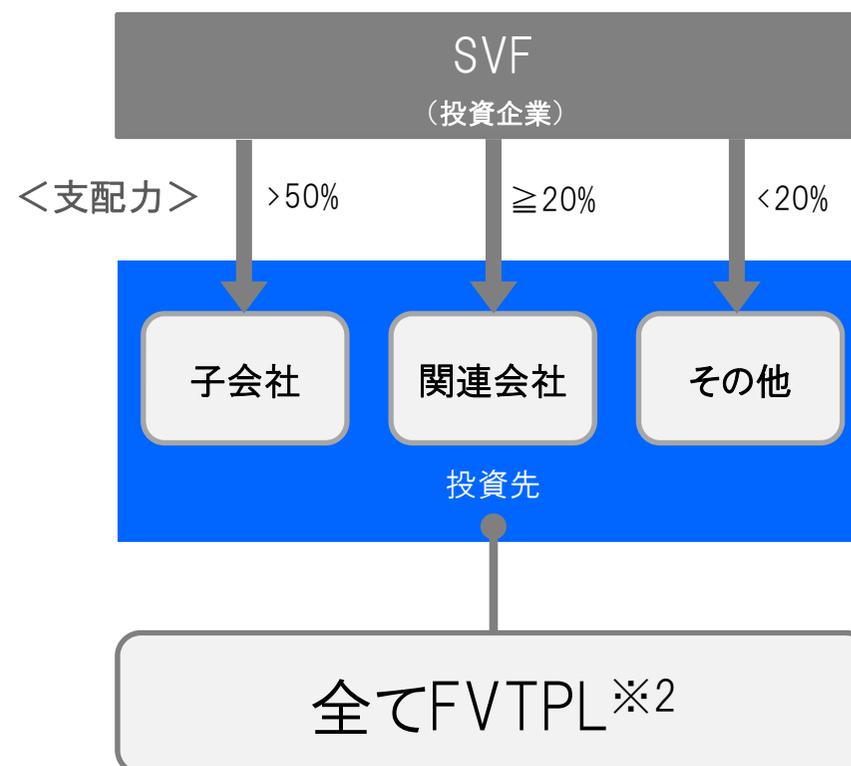
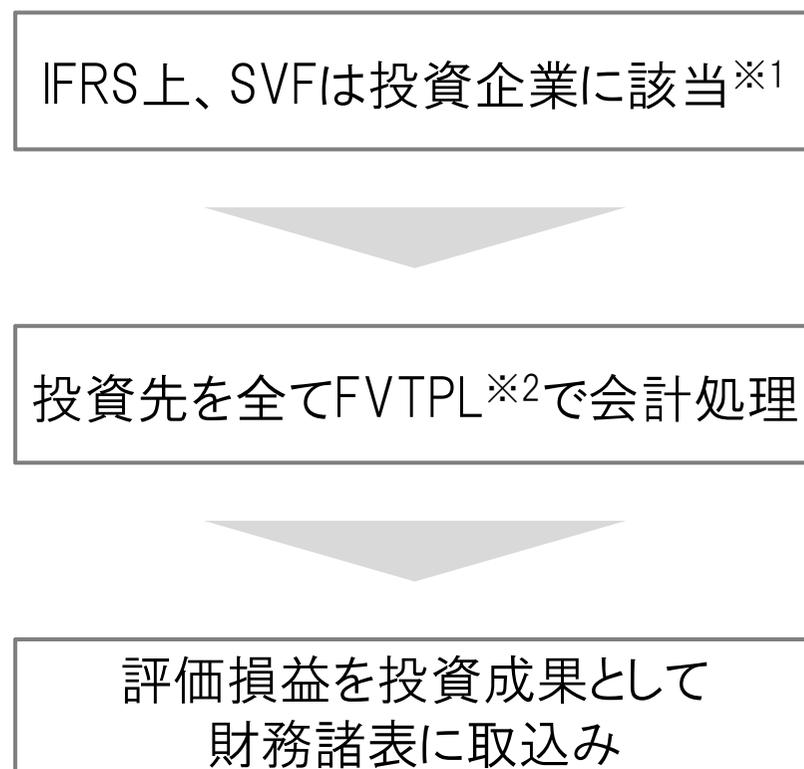
※1 IFRS10 Para27を参照ください。

※2 IFRS10 Para33を参照ください。

※3 FVTPL (Fair Value Through Profit or Loss): 資産は四半期末ごとに公正価値で評価され、評価差額はP/Lに計上されます。
(IAS28 Para18,19、IFRS10 ParaB85K(a),85L(c)、IFRS9 Para 4.1.4, 5.7.1)

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - SVF

SVFは全ての投資先をFVTPL※2で会計処理します。



※1 IFRS10 Para27を参照ください。

※2 FVTPL (Fair Value Through Profit or Loss): 資産は四半期末ごとに公正価値で評価され、評価差額はP/Lに計上されます。

(IAS28 Para18,19、IFRS10 ParaB85K(a),85L(c)、IFRS9 Para4.1.4、5.7.1)

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 公正価値評価

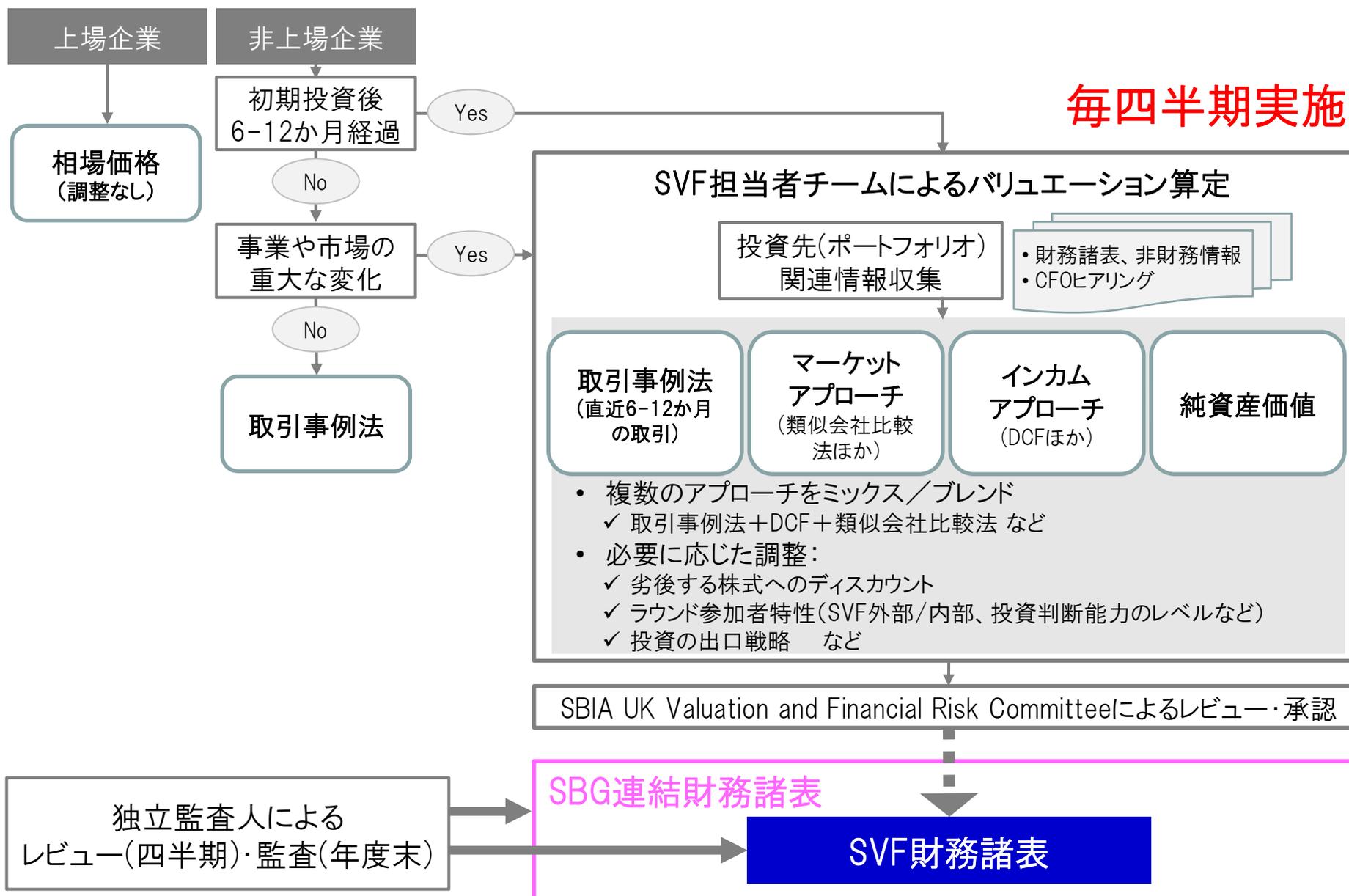
SBG連結における投資先の公正価値評価は、SVFの公正価値評価(評価方法と評価金額)を引き継ぎます(投資先が連結子会社となる場合を除く)。評価方法は次頁を参照ください。

SVFの公正価値評価

- 評価方法
- 評価金額

SBG連結財務諸表
に引き継ぎ

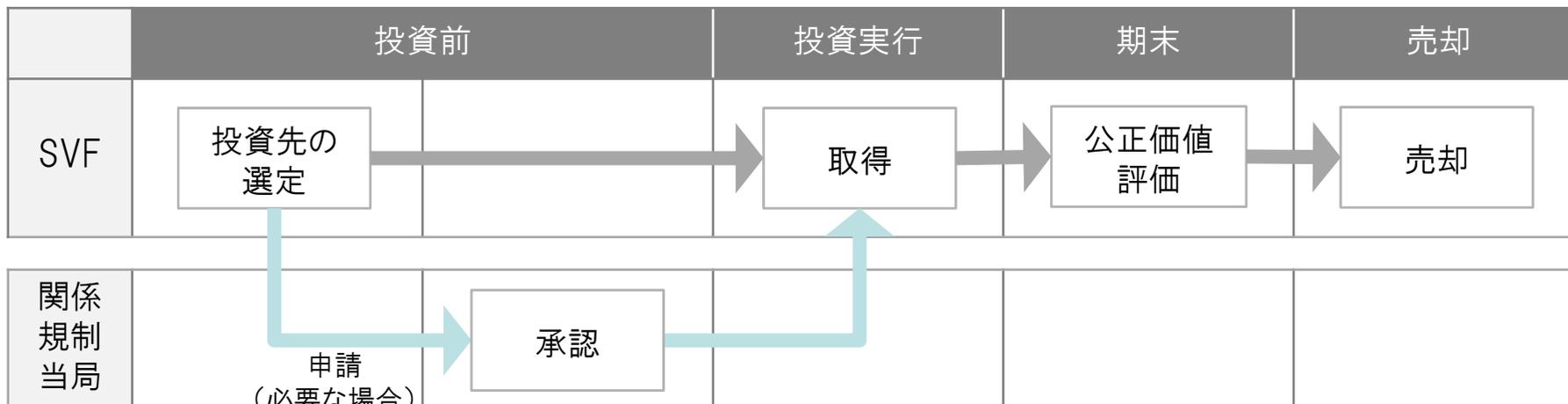
2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 公正価値評価



2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 関連会社/その他

SVFにおける投資のサイクルは以下の表のとおりです。SVFが取得した関連会社/その他への投資は、原則FVTPLで会計処理し、SVF独自の科目で表示します。

投資サイクル



会計処理

FVTPLで会計処理

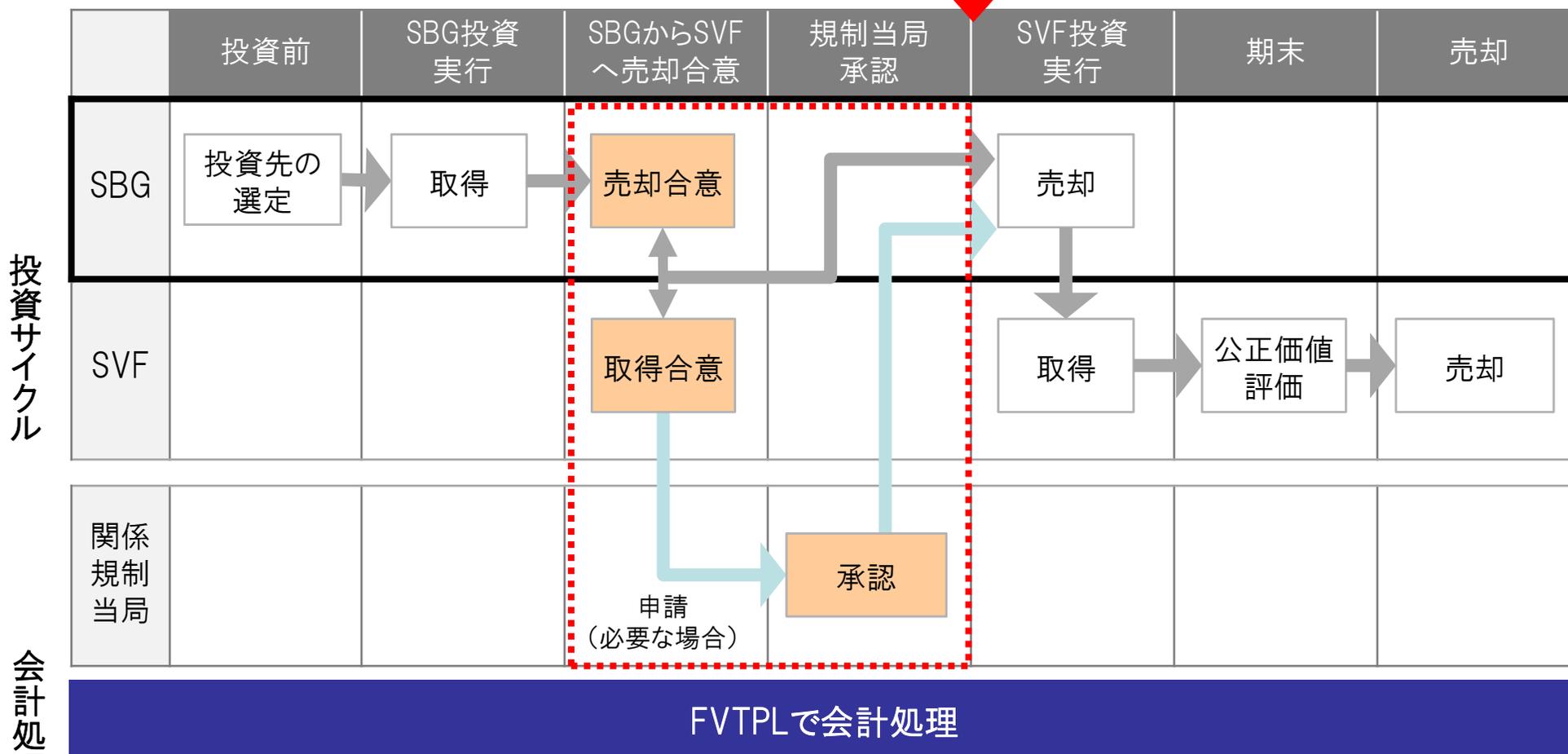
表示イメージ

連結P/L	連結B/S	連結C/F
売上高 売上原価 売上総利益 ソフトバンク・ビジョン・ファンド /デルタ・ファンドからの営業利益 営業利益	流動資産 営業債権及びその他の債権 非流動資産 FVTPLで会計処理されている ソフトバンク・ビジョン・ファンド /デルタ・ファンドからの投資 投資有価証券	投資活動によるキャッシュ・フロー 投資の取得による支出 投資の売却または償還による収入 ソフトバンク・ビジョン・ファンド /デルタ・ファンドによる投資の取得による 支出 ソフトバンク・ビジョン・ファンド /デルタ・ファンドによる投資の売却による 収入

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 関連会社/その他

SVFが取得した関連会社/その他への投資には、SVFが直接取得するもののほか、SBGからSVFへの売却を経てSVFが取得する投資があります。このような投資も、SVFが直接取得した投資と同じく、FVTPLで会計処理します。表示は、**売却の決定の認識**を契機に、SVF独自の科目を使用します。次頁以降を参照ください。

(必要な合意・承認を全て得た時点で)
売却が決定されたと認識



2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 関連会社/その他

SBGからSVFへの売却価額は公正価値に基づきます。ブリッジ投資は、SBGによる取得からSVFへの売却が短期間に行われるため、SBG取得価額とSVF取得価額が一致します。

ブリッジ投資以外でSVFがSBGから取得する投資については、SBGによる取得からSVFへの売却までに相応の期間が経過し、その期間に公正価値が変動することから、SBG取得価額とSVF取得価額に差額が生じます。

SVFがSBGから取得する投資

ブリッジ投資

定義

- SVFへの紹介を前提としてSBGが取得し、かつ
- SBGの取得時点でSVFの投資対象に合致していた投資

取得価額

$$\text{SBG 取得価額} = \text{SVF 取得価額} = \text{公正価値}$$

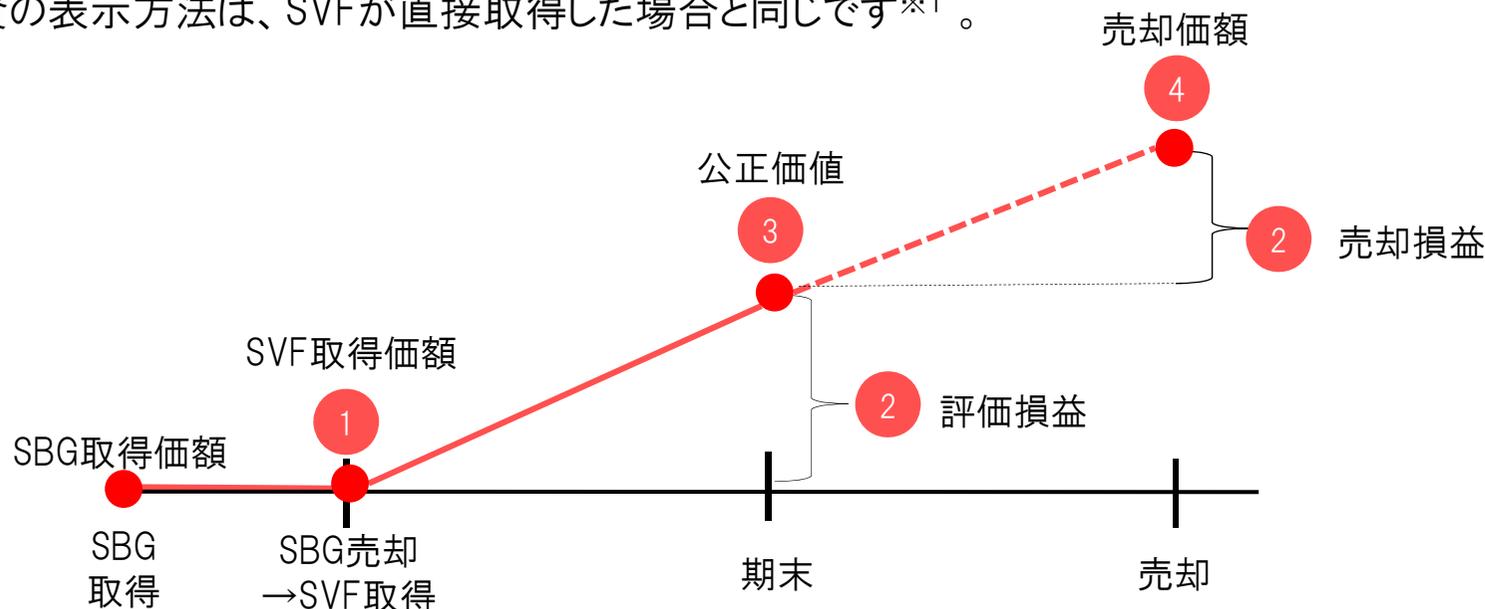
ブリッジ投資以外

左記要件を満たさない取引

$$\text{SBG 取得価額} \neq \text{SVF 取得価額} = \text{公正価値}$$

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 関連会社/その他

ブリッジ投資の表示方法は、SVFが直接取得した場合と同じです※1。



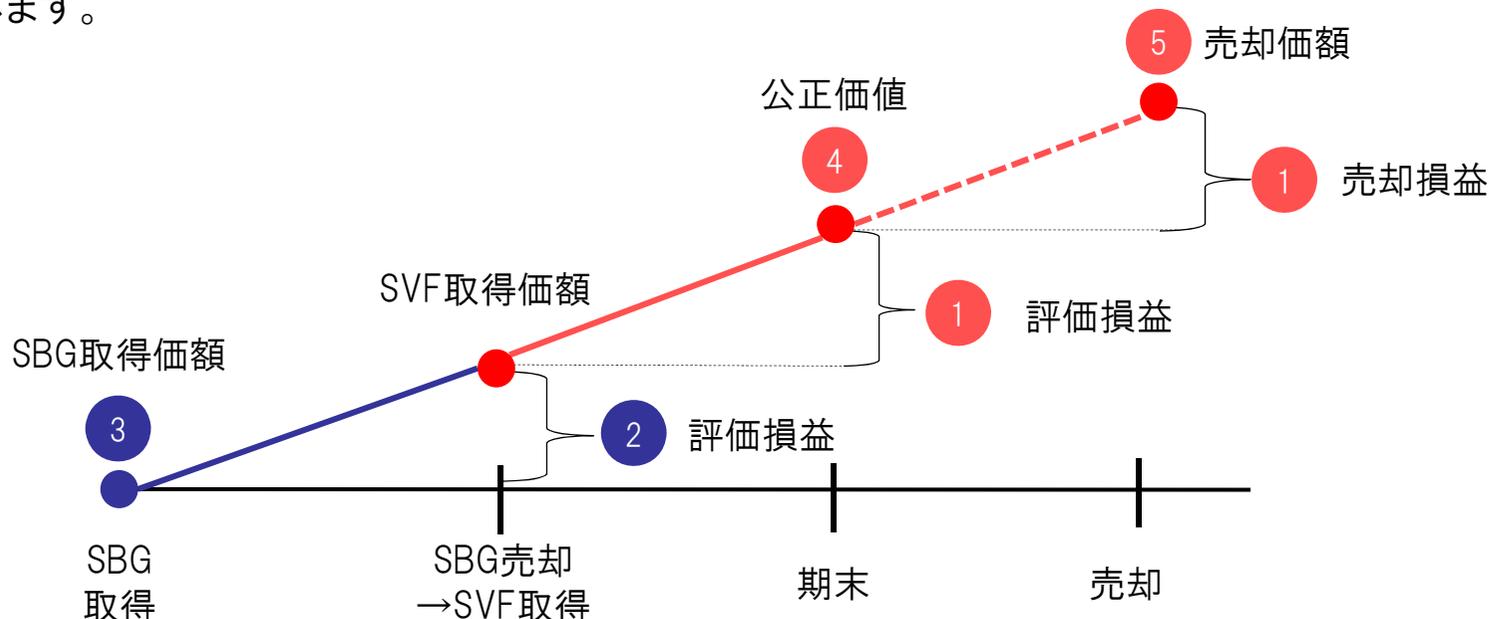
表示イメージ

連結P/L	連結B/S	連結C/F
売上高 売上原価 売上総利益 …………… ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドからの営業利益 (2) …………… 営業利益 ……………	流動資産 営業債権及びその他の債権 …………… 非流動資産 …………… FVTPLで会計処理されている ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドからの投資 (3) …………… 投資有価証券 ……………	投資活動によるキャッシュ・フロー …………… 投資の取得による支出 投資の売却または償還による収入 …………… ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドによる投資の取得による支出※1 (1) …………… ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドによる投資の売却による収入 (4)

※1ただし、SBGからSVFへの売却が決定した決算年度より前にSBGが投資を取得していた場合、過年度C/Fは「投資の取得による支出」で表示します。

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - 関連会社/その他

ブリッジ投資以外でSVFがSBGから取得する投資は、SVF取得価額と期末公正価値評価額との差額を、SVF独自の科目で表示します。また、SBG取得価額とSVF取得価額(=SBG売却価額)との差額は、SBGの通常の科目で表示します。



表示イメージ

連結P/L	連結B/S	連結C/F
売上高 売上原価 売上総利益 ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドからの営業利益 (1) 営業利益 その他の営業外損益 (FVTPLの金融商品から生じる損益) (2)	流動資産 営業債権及びその他の債権 非流動資産 FVTPLで会計処理されているソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドからの投資 (4) 投資有価証券	投資活動によるキャッシュ・フロー 投資の取得による支出 (3) 投資の売却または償還による収入 ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドによる投資の取得による支出 ソフトバンク・ビジョン・ファンド / デルタ・ファンドによる投資の売却による収入 (5)

2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示 - セグメント情報

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド事業のセグメント利益には、子会社を含む投資損益とファンドの運営費用の合計額が計上されます。セグメント利益に含まれる連結子会社の投資損益は、調整額で消去します。

■設例 (条件、金額はすべて仮定の金額)

- A社(子会社)の業績 : 売上高900、営業費用500、セグメント利益400
- ファンドによる投資損益 : A社900、B社(子会社以外)300
- ファンドの運営費用 : 200 (その他に収益・費用なし)

セグメント	ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド事業	その他	調整額	連結
売上高	-	900	-	900
セグメント利益	1,000	400	△900	500

	A社(子会社) 投資損益	+900	A社の業績	ファンドによる
	B社(子会社以外) 投資損益	+300		A社(子会社)投資損益を消去
	ファンドの運営費用	△200		
	合計	+1,000		

	A社(子会社) セグメント利益	+400	A社の売上高	
	B社(子会社以外) 投資損益	+300		
	ファンドの運営費用	△200		
	合計	+500		

3) 外部投資家持分の会計処理と表示

外部投資家持分とは、ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドに参画する外部投資家が保有するソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドに対する持分を言います。外部投資家持分は、連結B/S上は「ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドにおける外部投資家持分」として負債計上※1されます。また、業績による変動(出資、償還以外)は、連結P/L上、「ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドにおける外部投資家持分の増減額」として営業外費用に計上されます。

外部投資家
持分

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドに参画する外部投資家が保有するソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドに対する持分

投資	評価益	SBG持分 外部投資家持分	←
	投資元本	SBG持分 外部投資家持分	←

会計処理・
表示

- 1. ファンド期間は有限
- 2. 投資家へ分配義務あり

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドにおける外部投資家持分 (負債※1) B/S

		(増減額)	↑↓
外部投資家持分	外部投資家持分	外部投資家持分	
前期末		当期末	

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドにおける外部投資家持分の増減額※2 (営業外費用) P/L

※1 「償却原価で測定する金融負債」に分類
 ※2 出資、償還は除く

4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がプラス

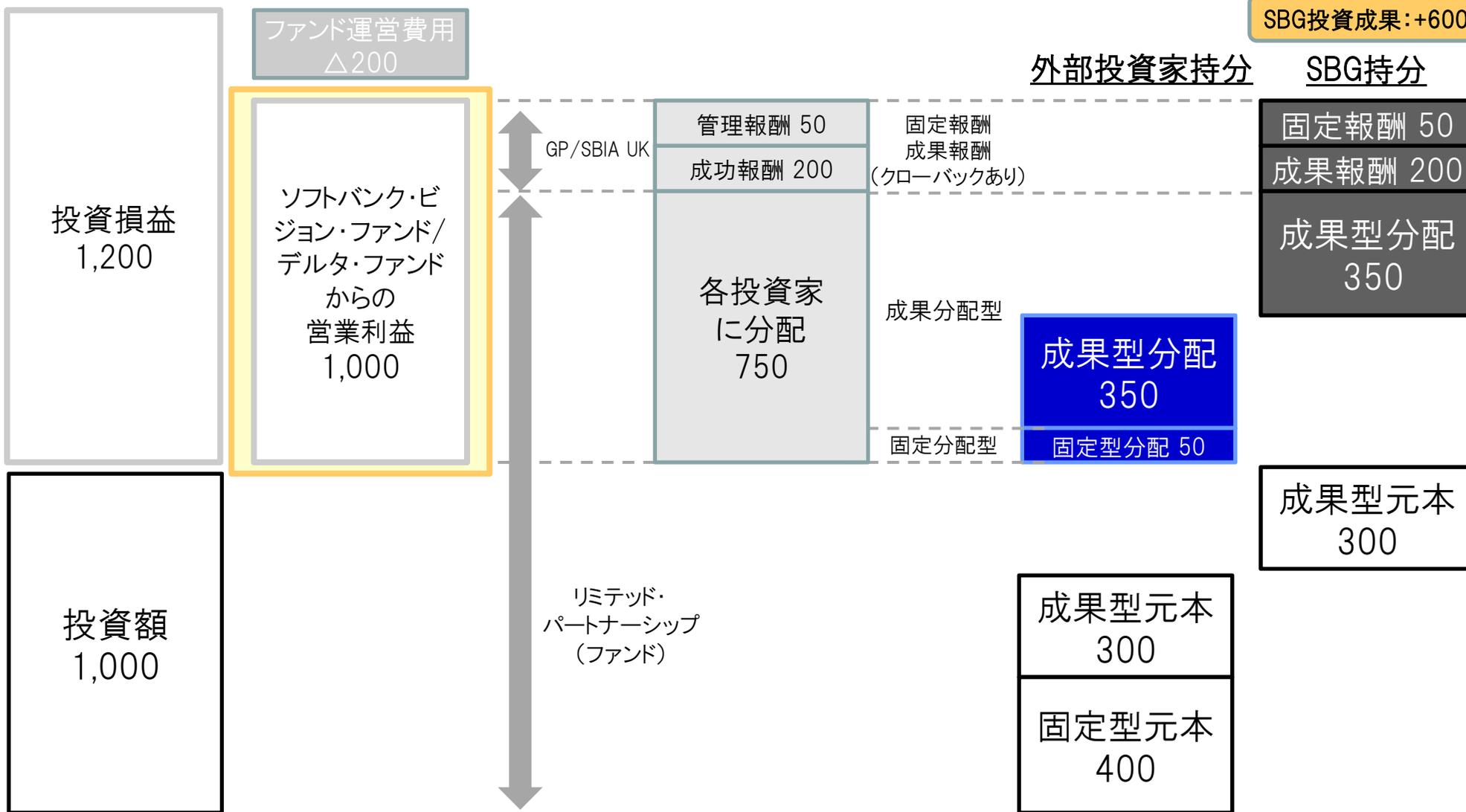
P.38及び39の設例において下記を前提条件とする。

- ファンドのキャピタル・コール 1,000
SBG(成果分配型)=300 外部投資家(成果分配型)=300 外部投資家(固定分配型)=400
- ファンドからの投資 1,000
- 投資の当期末公正価値 2,200 (投資損益1,200)
- ファンドの運営費用 200
- ファンドからGP/SBIA UKへの管理報酬 50、成功報酬 200
- 固定分配型の当期分配額 50
- 成果分配型の配分割合 SBG:外部=1:1

※上記の条件、金額などはすべて**仮定の金額**です。

4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がプラス

SBG投資成果: +600



4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がプラス

前頁分配の流れについて、P/Lイメージは以下の通りです。

		SVF		SBG連結		
科目および内容		LP (ファンド)	GP/ SBIA UK	連結 調整	SBG 連結	表示科目
売上高	投資損益	+1,200	-		-	-
売上高	管理報酬 & 成功報酬	-	+250	-250	-	-
営業費用	ファンド運営費用	-200	-		-	-
営業費用	管理報酬 & 成功報酬	-250	-	+250	-	-
営業利益		+750	+250	-	+1,000	ソフトバンク・ビジョン・ファンド/ デルタ・ファンドからの営業利益
営業外費用		-	-	-400	-400	ソフトバンク・ビジョン・ファンド/ デルタ・ファンドにおける外 部投資家持分の増減額
純利益	*上記以外の収益・費用は省略	+750	+250	-400	+600	純利益
純利益の 帰属者	SBG(成果型分配)	+350	+250	=	+600	
	外部投資家(成果型分配)	+350				
	外部投資家(固定型分配)	+50				

① ファンドからGP/SBIA UKへの管理報酬&成功報酬は内部取引のため連結消去

② ファンドの純利益750のうち外部投資家に帰属する400をSBG連結上、営業外費用で計上

4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がマイナス

P.41及び42の設例において下記を前提条件とする。

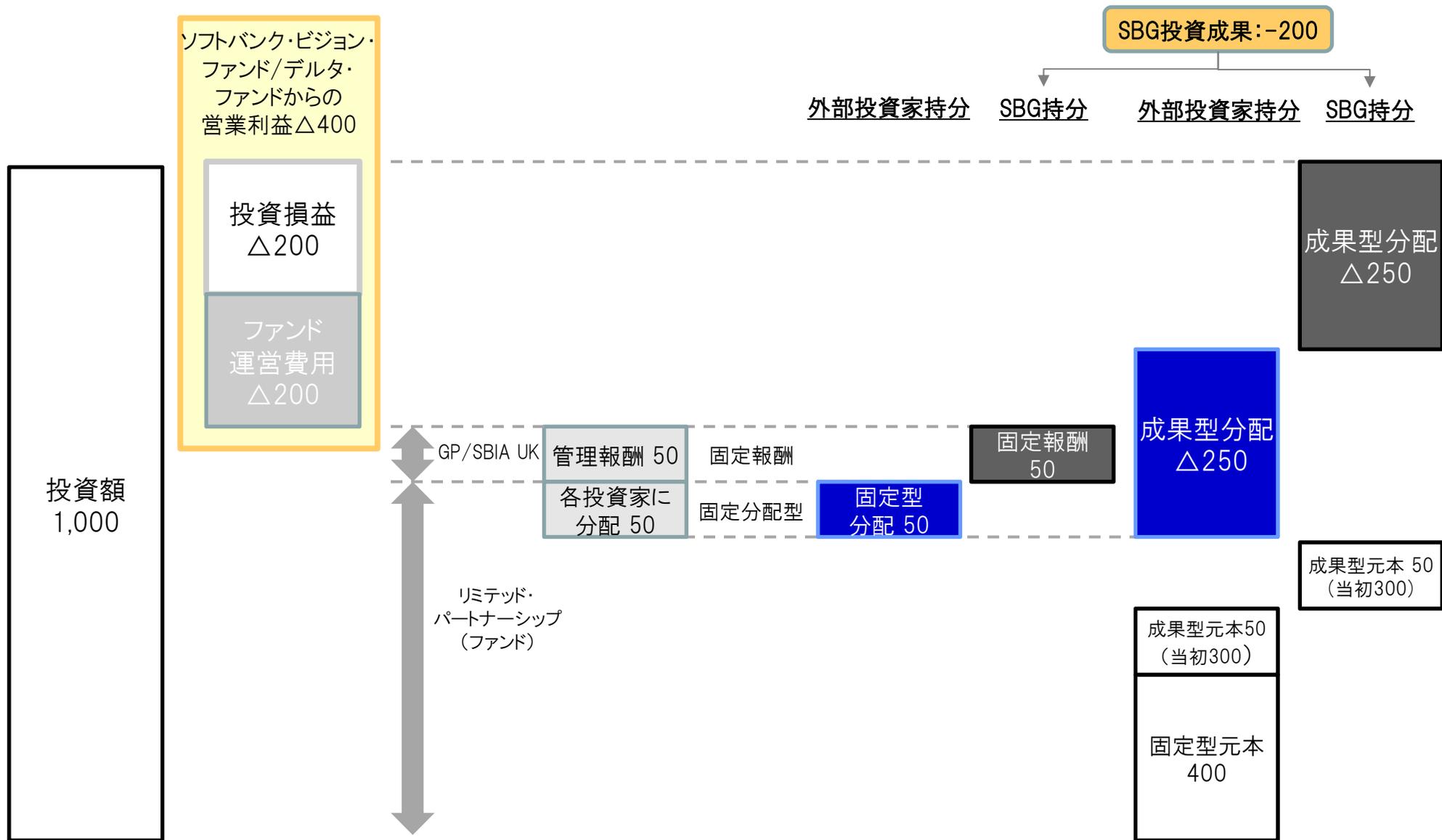
- ファンドのキャピタル・コール 1,000
SBG(成果分配型)=300 外部投資家(成果分配型)=300 外部投資家(固定分配型)=400
- ファンドからの投資 1,000

- 投資の当期末公正価値 800 (投資損益△200)

- ファンドの運営費用 200
- ファンドからGP/SBIA UKへの管理報酬 50、成功報酬なし
- 固定分配型の当期分配額 50
- 成果分配型の配分割合 SBG:外部=1:1

※上記の条件、金額などはすべて**仮定の金額**です。

4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がマイナス



4) SBGと外部投資家に対する分配 - 投資成果がマイナス

前頁分配の流れについて、P/Lイメージは以下の通りです。

科目および内容		SVF		SBG連結		
		LP (ファンド)	GP/ SBIA UK	連結 調整	SBG 連結	表示科目
売上高	投資損益	-200	-		-	-
売上高	管理報酬	-	+50	-50	-	-
営業費用	ファンド運営費用	-200	-		-	-
営業費用	管理報酬	-50	-	+50	-	-
営業利益		-450	+50	-	-400	ソフトバンク・ビジョン・ファンド/ デルタ・ファンドからの営業利益
営業外費用		-	-	+200	+200	ソフトバンク・ビジョン・ファンド/ デルタ・ファンドにおける外 部投資家持分の増減額
純利益	*上記以外の収益・費用は省略	-450	+50	+200	-200	純利益
純利益の 帰属者	SBG(成果型分配)	-250	+50	=	-200	
	外部投資家(成果型分配)	-250				
	外部投資家(固定型分配)	+50				

① ファンドからGP/SBIA UKへの管理報酬は内部取引のため連結消去

② ファンドの純利益-450のうち外部投資家に帰属する-200をSBG連結上、営業外費用で計上(純利益にプラスの影響) 42

3. SBG連結財務諸表サマリー

1. SVF事業の概要と会計処理

- 1) SVFのビジネスモデル
- 2) SVFにおける収益性の評価
- 3) SVFを構成する事業体
- 4) SVFの業務の流れ

2. SBG連結の会計処理

- 1) SBG連結対象
- 2) 投資先(ポートフォリオ)の会計処理と表示
- 3) 外部投資家持分の会計処理と表示
- 4) SBGと外部投資家に対する分配

3. SBG連結財務諸表サマリー

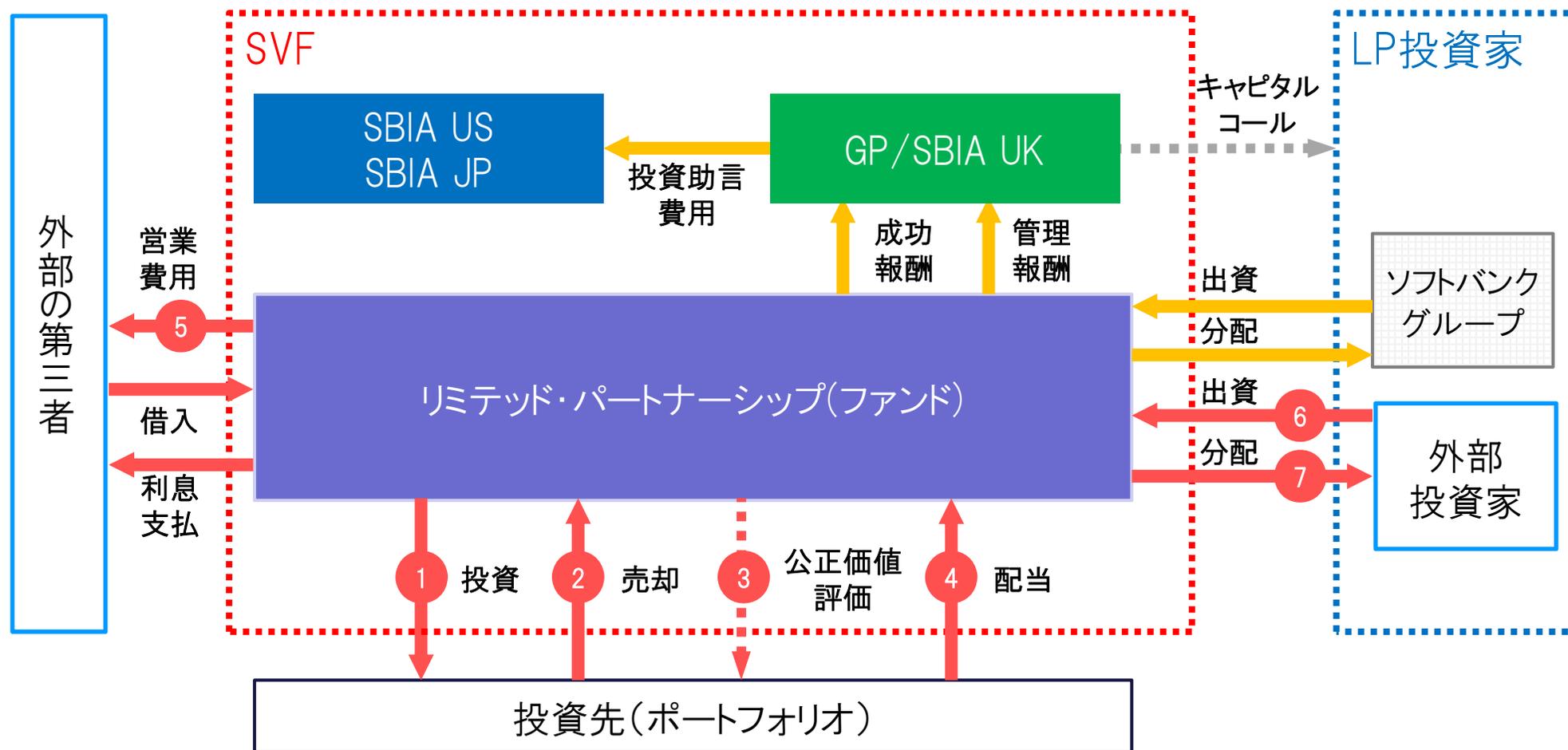
- 1) ファンドの取引概要
- 2) SBG連結財務諸表サマリー
(BS・PL・CF・セグメント情報)

Appendix

ファンド特有の用語
IFRS上の投資企業の定義

1) ファンドの取引概要

SVFの取引が、SBG連結財務諸表においてどのように表示されるか、次頁以降に示します。



: SBG連財務諸表において内部取引として消去される
 : 資金が動かない取引を示す

2) SBG連結財務諸表サマリー

B/S

資産

流動資産

現金及び現金同等物
営業債権及びその他の債権
その他の金融資産 等

非流動資産

有形固定資産
のれん
無形資産
持分法で会計処理されている投資

FVTPLで会計処理されている
ソフトバンク・ビジョン・ファンド/
デルタ・ファンドからの投資

投資有価証券
その他の金融資産 等

負債及び資本

流動負債

有利子負債※¹
営業債務及びその他の債務 等

非流動負債

有利子負債※¹

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/
デルタ・ファンドにおける外部投資家持分

その他の金融負債
引当金
繰延税金負債 等

資本

親会社の所有者に帰属する持分
非支配持分

① ② SVFからの投資・売却(子会社株式を除く)
③ 公正価値評価

② ③ ④ SVFの外部投資家に帰属する
⑥ ⑦ 持分は負債として計上

※¹ 有利子負債には、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)のSBGグループ外からの借入金が含まれます。この借入金は、有利子負債の内訳として、その金額が開示されます。

2) SBG連結財務諸表サマリー

P/L

売上高

売上原価

売上総利益

販管費

営業利益(ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド除く)

ソフトバンク・ビジョン・ファンド
/デルタ・ファンドからの営業利益

営業利益

財務費用※1

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド
における外部投資家持分の増減額

.....

税引前利益

法人所得税

純利益

純利益の帰属

親会社の所有者

非支配持分

[投資損益]

2 投資の売却による実現損益

3 投資の未実現評価損益

4 投資先からの利息配当収益

(子会社株式に対する投資損益を除く)

[営業費用]

SVFを構成する事業体の設立費用

5 SBIA(UK/US/JP)で発生した
取引調査費用

各社で発生した管理費用など

2 3 外部投資家に帰属する持分の増減
4 5 (出資、償還は除く)

※1 財務費用には、リミテッド・パートナーシップ(ファンド)のSBGグループ外からの借入により生じる支払利息が含まれます。この支払利息は、財務費用の内訳として、その金額が開示されます。

2) SBG連結財務諸表サマリー

C/F

営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益

減価償却費

.....

小計

利息及び配当金の受取額

利息の支払額

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド
による投資の取得による支出
ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド
による投資の売却による収入

他

財務活動によるキャッシュ・フロー

.....

ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド
における外部投資家からの払込による収入
ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド
における外部投資家に対する分配・償還額

他

.....

現金及び現金同等物の期末残高

[投資損益]

- ② 投資の売却による実現損益
- ③ 投資の未実現評価損益
- ④ 投資先からの利息配当収益
(子会社株式に対する投資損益を除く)

[営業費用]

- ⑤ SVFを構成する事業体の設立費用
- SBIA(UK/US/JP)で発生した取引調査費用
- 各社で発生した管理費用など

- ① ② SVFからの投資と処分に関する収支

- ⑥ ⑦ 外部投資家に関する収支
(払込・償還・分配等)

2) SBG連結財務諸表サマリー

セグメント情報

	国内通信 事業	...	ソフトバンク・ビジョ ン・ファンド/デル タ・ファンド事業	その他	調整額	連結
売上高	XXX	...	-	XXX	XXX	XXX
セグメント利益	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX
EBITDA	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX
ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンド事業の投資に関する調整額						
未実現評価損益	-	...	△XXX	XXX	XXX	XXX
為替換算影響額	-	...	XXX	XXX	XXX	XXX
調整後EBITDA	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX

=ソフトバンク・ビジョン・ファンド/デルタ・ファンドからの営業利益

= 売却による**実現**損益+投資先からの利息配当収益 - 営業費用
(減価償却費を除く)

未実現損益を控除

– Appendix –

Appendix) ファンド特有の用語(1/2)

No.	分類	用語	内容
1	契約	LPA (リミテッド・パートナーシップ・アグリーメント)	Limited Partnership Agreementの略。GP/SBIA UKとLPで締結する契約。ファンド運営に必要な各種取決めを規定
2	事業体	SVF	SoftBank Vision Fundの略称
3		Limited Partnership (リミテッド・パートナーシップ)	LPAに基づき設立される組合(ファンド)
4		SBIA UK	SB Investment Advisers (UK) Limited(SBGの英国100%子会社、SVFの運営管理者)
5		SBIA US、SBIA JP	SBIA UKに対して投資助言サービスを提供する、日米のアドバイザー会社
6		GP	General Partnerの略称。SVFの投資成果に関する責任を無制限に負う組合員
7		LP	Limited Partnerの略称。SVFに対し、出資コミットメントを上限として責任を負う組合員
8		資金関係	Commitment (出資コミットメント)
9	Class A		成果分配型の出資形式
10	Class B		固定分配型の出資形式
11	Capital Call (キャピタルコール)		出資コミットメントを上限に、GP/SBIA UKが、投資や管理報酬、営業費用等の資金拠出を、LPに対し要請すること
12	Drawdown (ドローダウン)		LPがGP/SBIA UKからのキャピタルコールに基づき出資履行を行うこと。キャピタルコール時、GPからLPへ書面でのNoticeを発行することになる。この書面を「Drawdown Notice」と呼ぶ
13	Management Fee (管理報酬)		GP/SBIA UKの管理者報酬

Appendix) ファンド特有の用語(2/2)

No.	分類	用語	内容
14	成果分配 /評価	Waterfall (ウォーターフォール)	ファンドが生み出したキャッシュ(例えば、投資の処分等による収入)は、GP/SBIA UKによる管理報酬や営業費用等に充当され、その後、LP等へ分配されていくことになるが、それらの支払の順序に優先劣後関係をつけたもの
15		IRR (内部収益率)	Internal Rate of Returnの略。SVFが投資先に対する投資成果を評価する際に用いる指標。将来キャッシュフローの現在価値の合計と、投資金額が一致する場合の割引率を指す
16		クローバック	一定の条件のもとで行われる、成功報酬等の戻し
17	その他	投資期間	SVFが投資可能な期間。最終クローリングから5年間、またはGPが決定した期間のいずれかで、先に期限が到来するもの
18		存続期間	SVFが存続する期間。最終クローリングから原則12年間
19		クローリング	SVFに対する、LP投資家の出資コミットメントの申し込みが完了すること。複数回実施されるクローリングのうち、最初のクローリングを「初回クローリング」という
20		ブリッジ投資	SVFへの紹介を前提としてSBGが取得し、かつSBGの取得時点でSVFの投資対象に合致していた投資

■ IFRS上の投資企業の定義

IFRS10 27 (抜粋)

投資企業は、次のすべてに該当する企業である。

- a. 投資者から、当該投資者に投資管理サービスを提供する目的で資金を得ている。
- b. 投資者に対して、自らの事業目的は資本増価、投資収益、又はその両方からのリターンのためだけに資金を投資することであると確約している。
- c. 投資のほとんどすべての測定及び業績評価を公正価値ベースで行っている。

■ 投資企業の親会社の子会社に対する会計処理

IFRS10 33 (抜粋)

投資企業の親会社は、投資企業である子会社を通じて支配している企業を含めて、支配しているすべての企業を連結しなければならない。ただし、親会社自身が投資企業である場合を除く。